

令和4年度 事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一般庶務	1
II 埋蔵文化財調査事業	2
III 文化財資料活用事業	5
IV 大阪府立弥生文化博物館事業	12
V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	26
VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業	39
VII 日本民家集落博物館事業	47

令和4年度 事業報告

I. 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

令和4年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
令和4年6月8日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和3年度事業報告及び収支決算について 3. 定時評議員会の招集事項について
令和4年6月30日	定時評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 令和3年度事業報告及び収支決算について 2. 定款の変更について 3. 理事の選任について 4. 監事の選任について 5. 中期経営計画(令和4年度～令和8年度)について
令和4年11月11日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和4年度事業進捗 3. 令和4年度補正予算書(案)
令和5年3月24日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2. 令和4年度第二次補正予算書(案) 3. 令和5年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込み 4. 第2回臨時評議員会の招集事項
令和5年3月27日	第2回臨時評議員会	書面表決	1. 理事の選任について

2. 役員・評議員の異動状況

年 月 日	就	任	退	任
令和4年6月30日			理 事	勝真雅之
令和4年6月30日			理 事	松井宏好
令和4年6月30日	理 事	井藤 徹 (重任)		
令和4年6月30日	理 事	今井 涉 (重任)		
令和4年6月30日	理 事	舘野和己 (重任)		
令和4年6月30日	理 事	河村陽一郎 (新任)		
令和5年3月31日			理 事	井藤 徹
令和5年3月31日			理 事	岡本茂史

II. 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

文化財の保存・活用を目的として、埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理等を下記の通り実施した。

(1) 大阪府域

- ① 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線（八幡～高槻）建設事業地内の調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
梶原古墳群〔調査〕	4,910,000	490	高槻市
梶原古墳群〔整理〕	8,273,000	0	高槻市
梶原南遺跡(3)〔精算事務のみ〕	0	0	高槻市
梶原南遺跡(4)〔調査・整理〕	24,652,000	1,875	高槻市
梶原南遺跡(3・4)〔整理〕	7,248,000	0	高槻市
金龍寺旧境内跡(1)〔整理〕	4,624,000	0	高槻市
金龍寺旧境内跡(2)〔整理〕	4,355,000	0	高槻市

- ② 大阪府都市整備部 枚方土木事務所が施行する京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伊加賀遺跡・伊加賀古墳群〔報告書印刷〕	354,000	0	枚方市
梨木元遺跡〔調査〕	18,260,000	815	寝屋川市

- ③ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡(9)〔調査・整理〕	37,047,000	2,595	柏原市
大県郡条里遺跡(10)〔調査・整理〕	41,697,000	2,670	柏原市
大県郡条里遺跡(11)〔調査〕	11,545,000	1,070	柏原市

- ④ 大阪府都市整備部 モノレール建設事務所が施行する大阪モノレール延伸事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
西岩田遺跡〔調査〕	56,848,000	739	東大阪市

- ⑤ 大阪府危機管理室が施行する東大阪オフサイトセンター改修工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
上小阪遺跡〔調査・整理〕	4,242,000	29	東大阪市

⑥ 大阪モノレール株式会社が施行する（仮称）瓜生堂車両基地整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
西岩田遺跡〔調査〕	33,999,000	2,332	東大阪市
西岩田遺跡〔整理〕	19,240,000	0	東大阪市

⑦ 西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所が施行する吹田総合車両所近代化改良工事他事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
目俵遺跡・吹田操車場遺跡〔調査〕	16,573,000	2,498	吹田市
目俵遺跡・吹田操車場遺跡〔整理〕	10,695,000	0	吹田市
目俵遺跡・吹田操車場遺跡(2)〔保存処理〕	0	0	吹田市

⑧ 門真市が施行する門真市幸福東土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
普賢寺遺跡〔報告書印刷〕	618,000	0	門真市

⑨ J R島本駅西土地区画整理組合が選定した業務代行者の株式会社フジタが施行する北部大阪都市計画事業 J R島本駅西土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
尾山遺跡〔報告書印刷〕	802,000	0	島本町

⑩ 学校法人 追手門学院が施行する追手門学院総持寺キャンパス開発事業地内の発掘調査

（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
太田遺跡(4)〔整理〕	19,981,000	0	茨木市

⑪ 学校法人 立命館が施行する立命館大学O I C新展開施設整備事業地内の発掘調査

（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
中条小学校遺跡・松ヶ本南遺跡〔調査・整理〕	23,658,000	1,188	茨木市

⑫ 松原市三宅西土地区画整理組合が施行する南部大阪都市計画事業松原市三宅西土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
三宅西遺跡〔調査〕	15,977,000	1,923	松原市

- ⑬ 三井不動産株式会社が計画し、株式会社 竹中土木 大阪本店が施行する堺市美原区黒山東事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
黒山遺跡・太井遺跡 [報告書印刷]	1,595,000	0	堺市美原区

- ⑭ 河内長野市高向・上原土地区画整理組合が施行する河内長野市高向・上原土地区画整理事業地内の発掘調査（委託者 株式会社 島田組）

遺 跡 名	委託金額（円）	面積（㎡）	所 在 地
高向遺跡 [調査]	1,618,000	500	河内長野市

<令和4年度 調査事業 総計>

受託件数 26件 (令和3年度 26件)
 委託金額 368,811,000円 (令和3年度 383,937,200円)
 調査面積 18,724㎡ (令和3年度 29,230㎡)

(令和2年度 受託件数 24件 調査面積 45,672㎡)
 (令和元年度 受託件数 27件 調査面積 54,931㎡)
 (平成30年度 受託件数 21件 調査面積 59,103㎡)

Ⅲ. 文化財資料活用事業

1. 文化財講演会事業

(1) 文化財講演会 シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5. 19	でかける博物館講座 「みちのく弥生文化 －東北部に弥生文化は波及しなかった?－」	一般	近鉄文化 サロン	44	近鉄文化サロン 共催
6. 16	「よそから来た土器はどう使われたか」			45	
7. 21	「海とともに生きた三浦半島の弥生人」			44	
8. 18	「世界遺産 ヨーロッパの巨石モニュメント」			33	
9. 15	「古墳時代のカマドと暮らし」			36	
10. 20	「普賢寺ってどんな寺? －普賢寺遺跡の調査成果から－」			34	
11. 17	「淀川を介した古墳時代の交流 －上牧遺跡の調査から－」			46	
12. 15	「河内湖周辺に定着した渡来人の生活」			56	
1. 19	「土地の成り立ちと人びとの暮らし －大県郡条里遺跡の調査から－」			47	
2. 16	「文字文化の伝来と木簡」			65	
3. 16	「日本海沿岸地域と弥生・古墳時代の玉・玉生産」			54	

計 11 回 504 名

(2) 連携講演会・講座 博物館等外部と連携し、講演会等を次のとおり実施した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
6. 25	津堂遺跡発掘調査報告会 「津堂遺跡 平成 27 年度の調査成果について」	一般	藤井寺市 生涯学習センター	39	藤井寺市教育委員会
6. 25	土曜講座 「高槻市成合 3・4 号墳の発掘調査」	一般	大阪府立 近つ飛鳥博物館	26	
6. 26	春季特別陳列講演会 「須恵器生産のはじまりと陶邑・大庭寺遺跡」	一般	大阪府立 近つ飛鳥博物館	84	
9. 25	シリーズ講座「みはら学びのすすめⅡ」 「黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査」	一般	堺市立みはら 歴史博物館	64	堺市立 みはら歴史博物館

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
R04. 9 ～ R05. 1	四天王寺大学「日本学特殊講義 考古学」 1回 考古学入門－考古学とは何か？ 2回 考古学と遺跡発掘 3回 考古遺物の資料化 4回 旧石器・縄文時代の考古学 5回 弥生時代の考古学（1） 6回 弥生時代の考古学（2） 7回 古墳時代の考古学（1） 8回 古墳時代の考古学（2） 9回 古墳時代の考古学（3） 10回 北と南の考古学 11回 飛鳥奈良時代・平安時代の考古学 12回 中世社会と考古学 13回 近世の考古学 14回 日本と世界の考古学 15回 近・現代の考古学とまとめ	学生	四天王寺大学	21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	
12. 3	当センター設立50周年記念講演会 「歴史発掘おおさか半世紀」	一般	大阪科学技術 センター	83	
1. 18	近畿ブロック研修会講演 「高槻市上牧遺跡の調査成果と 淀川河畔の地形環境・土地利用の変遷」	所属 法人 職員	淀会館	36	全国埋蔵文化財協議 会近畿ブロック

計21回 647名

2. 現地説明会・現地公開事業

(1) 現地説明会・現地公開等

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
6. 13	西岩田遺跡〔東大阪市〕	近隣地区の自治会役員および 東大阪市役所関係者	発掘調査現場	25	
3. 18	大県郡条里遺跡〔柏原市〕	近隣地区の自治会・小学校・ 府民	発掘調査現場	163	

計2回 188名

(2) 発掘調査の動画配信等

実施年月日	内 容	視聴回数	備 考
5. 19～3. 31	巨大墳丘墓の発見！ 大県郡条里遺跡(その8) 調査成果	3,400	YouTube 動画
7. 21～3. 31	よみがえる摂津名所図会～金龍寺跡 参詣道の発掘調査～	313	YouTube 動画
2. 2～3. 31	大県郡条里遺跡(その9) 方形周溝墓の発見	348	YouTube 動画

計3回 4,061名

3. 文化財体験学習事業

(1) 体験学習等 学校教育を支援した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
8. 1 ～ 8. 5	夏季集中講座 「考古学入門」	学生	大県郡条里遺跡 および博物館	12	大阪府立 今宮高等学校
10. 13	日本古代史研究旅行 （「A1 フィールドワーク」選択科目）	学生	中部調査事務所 近つ飛鳥博物館	27	私立和光高等学校 （東京都）

計2回 39名

(2) 子ども向けの体験

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
7. 3	近鉄文化サロン まなぼスタジオ「ハニワ貯金箱をつくろう」	小学生	あべの ハルカス	8	
8. 7	近鉄文化サロン まなぼスタジオ「銅鐸せっけんをつくろう」	小学生	あべの ハルカス	3	
8. 21	あべの天王寺サマーキャンパス 2022 「銅鐸せっけんをつくろう」 「勾玉づくり体験と古代の首飾りづくり」	小学生	近鉄文化サロン 阿倍野	1	近鉄文化サロン 共催

計3回 12名

4. 文化財展示会事業

(1) スポット展示 博物館等と連携し、調査資料を公開した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数
9. 22～10. 23	調査成果スポット展示 「梶原南遺跡」	一般	高槻市立今城塚古代歴史館	5,020
10. 4～11. 27	「ららぽーと堺の下に眠る歴史！ ～黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査～」	一般	堺市立みはら歴史博物館	5,458
12. 3～12. 10	「ららぽーと堺の下に眠る歴史！ ～黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査～」	小学生	堺市立美原北小学校	1,312
11. 11～12. 11	調査成果スポット展示 「成合古墳群・梶原古墳群」	一般	高槻市立今城塚古代歴史館	5,562
2. 1～3. 21	「家」での暮らし	一般	大阪府立狭山池博物館	11,066
2. 14～3. 21	調査成果スポット展示 「目俵遺跡・吹田操車場遺跡」	一般	吹田市立博物館	1,446

計6回 29,864名

5. 文化財広報事業

(1) 事業年報（令和3年度）の編集・刊行

(2) ホームページでの情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘調査、イベント、保管資料の公開、出版等に関する情報を一

般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

(3) 「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、夏季から秋季にかけて全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟法人等が実施する普及事業の情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することにより、関西地域全体の考古学関連イベントにおける集客アップを図る企画である。令和4年度は、開催期間が9月1日から11月30日に設定され、当センターでは管理運営する各博物館の行事情報を提供するとともに、大阪府立近つ飛鳥博物館と日本民家集落博物館がスタンプラリーに参加した。

(4) 当法人設立50周年記念事業

令和4年度は、昭和47年の当センター設立から50周年、平成14年度の大阪府博物館協会統合から20周年を迎えた。これまで当センターが寄与した文化財保護行政に関する情報をとりまとめた記念誌『50年の歩み』を設立記念日である11月28日に刊行した。また、これまでの発掘調査成果や考古学の魅力を発信する記念講演会『歴史発掘おおさか半世紀』を、12月3日(土)に大阪科学技術センターを会場として開催し、83名の参加者を得た。

6. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

①令和4年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	182冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,495冊
センター発行図書	13冊
計	1,690冊
累計蔵書	102,595冊

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは、総計102,000レコード。

(2) 文化財情報のデジタル化

報告書に掲載された写真のうち、主にカラー図版の長期保存を図るため、スキャニングによるデジタルデータ化し、画像データとして活用できるようにした。また、奈良文化財研究所が運営する「全国遺跡報告総覧」について、報告書抄録の入力やPDFデータの提供等の協力を行った。

7. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出土品、写真等の貸出、資料調査の対応等

①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	主な出品資料
九州国立博物館	特別展「伽耶」	亀井遺跡：天秤権・石杵・砥石

貸出先	展覧会名等	主な出品資料
佐賀県立 名護屋城博物館	特別企画展 「肥前名護屋、煌めく —豊臣秀吉と桃山文化—」	大坂城跡：金箔瓦
大阪府立 近つ飛鳥博物館	春季特別陳列 「茅渟縣陶邑と須恵器生産のはじまり—大庭寺遺跡出土品指定記念—」	野々井西遺跡：須恵器蓋・坏・有蓋高坏・把手付鉢・有蓋大鉢・壘・樽形壘・鉢形器台
大阪府立 近つ飛鳥博物館	秋季特別陳列 「川と道の織りなす河内の交通—大和川と船橋・国府遺跡—」	久宝寺遺跡、小阪合遺跡、若江北遺跡、船橋遺跡：土師器高坏、須恵器蓋坏・高坏、特殊器台、蛇尾、蛇尾未製品、滑石製白玉
八尾市立 歴史民俗資料館	特別展 「八尾の古代史族—物部氏—」	七ツ門古墳、久宝寺遺跡：須恵器坏身・坏蓋、紡錘車、鉄製槍、金環、銀環、鞆羽口、鉄滓
高槻市立 今城塚古代歴史館	企画展 「淀川の考古学」	井尻遺跡、上牧遺跡、梶原南遺跡、船橋遺跡：青白磁盒子、青磁碗、黒色土器、瓦器碗、土師器高坏・坏・壺・甕、須恵器坏・高坏・壘・壺、製塩土器、軟質土器甌、石杵、石臼、石庖丁、滑石製白玉・模造品、緑色凝灰岩製管玉、双孔円板、石釧、桃核他
交野市立 歴史民俗資料展示室 (教育文化会館内)	秋季特別展 「交野の王墓と鉄器生産」	私部南遺跡、上私部遺跡、有池遺跡、伊加賀遺跡、伊加賀古墳群：鞆羽口、椀形滓、鉄滓、炉壁、鉄鋌、砥石
堺市博物館	企画展 「みはらの古代集落探索！—律令期・丹比郡の営みをたどる—」	太井遺跡、真福寺遺跡、丹上・河原城遺跡：須恵器坏・壺・円面硯、土師器坏・甕、円筒埴輪、トリベ、鞆羽口、鉄製品、鉄滓、平瓦、丸瓦、軒丸瓦、塼、統一新羅土器
国立金海博物館 (韓国)	特別展 「海を渡った伽耶人」	亀井遺跡：天秤権・石杵・砥石
兵庫県立考古博物館	特別展 「古墳時代の技術革新」	日置荘遺跡：木製叩き板・当て具

計 10 件 298 点

②常設展示資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いづみさの、和泉市立いづみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、太子町立竹内街道歴史資料館、箕面市立郷土資料館、国立歴史民俗博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 13 件 350 点

③写真資料の貸出

行政機関や出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

行政機関等：大阪府立近つ飛鳥博物館、慶北大学校人文学術院HK+事業団、高知県立歴史民俗資料館、枚方市、国立歴史民俗博物館、新宿区立新宿歴史博物館、佐賀県立名護屋城博物館、九州国立博物館、東京家政学院大学、八尾市立歴史民俗資料館、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、西日本旅客鉄道株式会社、高槻市立今城塚古代歴史館、交野市教育委員会、かつらぎ町教育委員会、八尾市、堺市博物館、和泉市教育委員会、大阪府モノレール建設事務所、南あわじ市教育委員会、兵庫県立考古博物館、枚方市、藤井寺市教育委員会、堺市立みはら歴史博物館他

出版社等：東京書籍株式会社、FILE Publications, inc、株式会社第一学習社、株式会社ABCアーク、株式会社大和書房、有限会社海鳥社、株式会社新泉社

テレビ局等：日本放送協会、株式会社NHKエンタープライズ、NHKメディア総局

計 43 件 255 点

④資料調査対応

研究者、専攻学生、博物館等から研究のためや展示借用予定資料の事前調査に対応した。

大阪歴史博物館、群馬県教育委員会、奈良県立橿原考古学研究所、兵庫県立考古博物館、交野市教育委員会、八尾市立歴史資料館、東京大学埋蔵文化財調査室、愛媛大学ミュージアム、奈良女子大学、駒沢大学学生、大阪大学学生、龍谷大学学生、岡山大学院生、京都大学院生、京都大学学生、同志社大学学生、南山大学学生、奈良大学学生、立命館大学学生、個人研究者他

計 23 件

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・頒布・ミュージアムグッズ頒布

①図書の出版・頒布

令和4年度、下記の図書を出版した。

- 1 第316集 尾山遺跡
- 2 第317集 黒山遺跡・太井遺跡
- 3 第318集 伊加賀遺跡・伊加賀古墳群
- 4 第319集 成合3号墳・成合4号墳
- 5 第320集 普賢寺遺跡
- 6 第321集 金龍寺旧境内跡5
- 7 第322集 大県郡条里遺跡8
- 8 第323集 梶原古墳群2
- 9 第324集 目俵遺跡・吹田操車場遺跡17
- 10 年報 令和3年度
- 11 50年のあゆみ
- 12 大阪文化財研究 第55号
- 13 大阪文化財研究 第56号

- 14 大阪府教育庁文化財調査事務所年報 26
- 15 弥生文化博物館 夏季特別展「南関東の弥生文化―東からの視点―」
- 16 近つ飛鳥博物館 夏季特別展「献ずる器―横穴式石室を彩るものたち―」
- 17 近つ飛鳥博物館 秋季企画展「川と道の織りなす河内の交通―大和川と船橋・国府遺跡―」

※14 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の頒布

博物館において来館者サービスの一環として、展示に関連した各出版社の書籍を委託頒布した。

③ 博物館における関連グッズ頒布

博物館において来館者サービスの一環として、魅力あるミュージアムグッズの頒布を行った。

8. 文化財研究事業

(1) 大阪文化財研究の刊行

職員の研究成果を発信する雑誌として「大阪文化財研究」55号を9月、56号を令和5年2月に、計2冊を刊行した。

(2) 近畿ブロック埋文研修会への参加

令和4年度の全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック研修会は（公財）京都市埋蔵文化財研究所が開催法人となり、令和5年1月28日に『淀川周辺の地形変遷と遺跡形成―淀川中流域を中心として―』が開催された。当センターからは職員1名を派遣し、「高槻市上牧遺跡の調査成果と淀川河畔の地形環境・土地利用の変遷」の報告を行った。

IV. 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 展示公開事業

「日本文化の源流である弥生時代を通じて、日本文化を理解した」をメインテーマに、博物館法ならびに大阪府博物館条例に基づき、展示公開を行った。

10月1日（土）から3月31日（金）まで、大阪府による建築、電気設備、空調等機械設備、昇降機設備、中央監視盤設備の大規模改修工事が行われたため、この期間は臨時休館となった。

(1) 常設展示

第1展示室は、「目で見える弥生文化」の導入ゾーン、「米づくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「弥生人」「交流」「死とまつり」のテーマゾーン、卑弥呼像を中心としたシンボルゾーンで、弥生文化をビジュアル的に展示した。

第2展示室は「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示した。

(2) 特別展・企画展

新規の来館者の裾野を広げるとともに、来館者の歴史文化に対する知的満足度をさらに高めるため、特別展・企画展を下記のとおり開催した。

①春季企画展「とんぼ玉100人展 一炎から生まれる 小さないのち」

【入館者数：6,105名 109名/日】

ア. 開催趣旨

弥生時代、日本列島内にはじめてガラスが伝わった。そのまばゆい光は、古代から多くの人びとの心を魅了し、現在にまで伝わっている。今回の展示では、ガラス工芸のなかでも地元で根付き、ひときわひかり輝くとんぼ玉に焦点をあて、そのみずみずしい感性と、繊細かつ確かな技術によって生みだされた珠玉の名品を展示した。

イ. 開催期間 4月16日（土）～6月19日（日）

【会期：56日間】

ウ. その他

とんぼ玉制作実演

4月23日（土） 「楽しいバーナーワーク」 増井敏雅

【参加者数：44名】

5月14日（土） 「中級者向けの技とコツ」 崎山高輝

【参加者数：63名】

5月28日（土） 「ライン置きで作る龍」 西川友敬

【参加者数：31名】

②夏季特別展「南関東の弥生文化―東からの視点―」

【入館者数：5,833名 102名/日】

ア. 開催概要

新たな発見の続く南関東の弥生文化を、農耕の導入から社会の発展、海をめぐる活動、さらに後期の変化と地域間交流といった多彩なトピックを盛り込みながら多角的に紹介した。これまで西日本をベースに構築されてきた弥生文化のイメージに対して、近年、関東をフィールドとする研究者から新たな問題提起がなされ、話題となった。展示の中でその主張のベースを掘り下げた。

イ. 開催期間 7月16日（土）～9月19日（月・祝）

【会期：57日間】

(3) スポット展示

①スポット展示

大阪府内における発掘調査最新成果の展示公開を市町村教育委員会の協力を得て適時実施した。

「船橋遺跡資料からみる突帯文と遠賀川」 令和4年3月31日(木)～5月8日(日)

【今年度会期：33日間 入館者数：2,367名】

「泉大津市域の弥生遺跡―新規発見！二ノ坪遺跡―」 6月21日(火)～9月30日(金)

【会期：88日間 入館者数：8,678名】

②弥生プラザ

大阪府教育庁による発掘調査成果等の展示コーナー「弥生プラザ」において、下記の展示を実施するとともに、リーフレットを作成、配布した。

「水差形土器の世界」 令和3年12月7日(火)～令和4年6月24日(金)

「下田銅鐸の時代」 6月25日(土)～9月30日(金)

2. 講演会事業

(1) 特別展・企画展等関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。

①夏季特別展「南関東の弥生文化―東からの視点―」

関東からの問題提起にこたえる！連続シンポジウム

8月6日(土) 第1回 海をめぐって 【参加者数：67名】

「「海」からみる東日本の弥生文化」

杉山浩平(東京大学大学院総合文化研究科特任研究員)

「「海」からみる近畿の弥生文化」塚本浩司(当館学芸課長)

9月3日(土) 第2回 集落をめぐって 【参加者数：91名】

「弥生集落論の再構築」浜田晋介(日本大学文理学部教授)

「列島の弥生集落はなぜ多様なのか？」若林邦彦(同志社大学歴史資料館教授)

9月17日(土) 第3回 農耕をめぐって 【参加者数：80名】

「栽培植物からみた弥生型農耕の系譜」中山誠二(帝京大学文化財研究所客員教授)

「西日本の弥生時代水田稲作と畠作農耕」大庭重信(大阪市文化財協会調査課課長代理)

(2) 「木曜大学」等の講座

①木曜大学

縄文時代から現代までの遺跡に焦点をあて、大学講義形式の講演会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、参加人数に制限を設け、往復はがき等による事前応募者のみの参加とした。

5月12日(木) 「縄文の社会構造をのぞく 姥山貝塚〔千葉県市川市〕」 【参加者数：20名】

秋山浩三(当館副館長)

5月19日(木) 「徳島の土製仮面と巨大銅鐸のムラ 矢野遺跡〔徳島県徳島市〕」 【参加者数：28名】

秋山浩三(当館副館長)

5月26日(木) 「奇偉荘厳の白鳳寺院 山田寺〔奈良県桜井市〕」 【参加者数：36名】

- 黒崎 直 (当館名誉館長)
- 6月 2日 (木) 「富本銭の造幣局 飛鳥池工房遺跡〔奈良県明日香村〕」 【参加者数：41名】
- 黒崎 直 (当館名誉館長)
- 6月 9日 (木) 「元軍船の発見 鷹島海底遺跡〔長崎県松浦市〕」 【参加者数：37名】
- 秋山浩三 (当館副館長)
- 6月 16日 (木) 「戦争遺跡の発掘 陸軍前橋飛行場〔群馬県高崎市〕」 【参加者数：26名】
- 秋山浩三 (当館副館長)

【6回参加者数計：188名】

②木曜大学大学院

魏志倭人伝をテーマとした講演会を行った。木曜大学と同じく参加人数に制限を設け、往復はがき等による事前応募者のみの参加とした。

- テーマ 「魏志倭人伝を読む」 講師 禰亘田佳男 (当館館長)
- 第1講 6月30日 (木) 山陰しく深林多い「対馬国」 【参加者数：115名】
- 第2講 7月14日 (木) 三千許りの家有る「一大 (一支) 国」 【参加者数：105名】
- 第3講 7月28日 (木) 魚鰭を捕らうることを好む「末盧国」 【参加者数：94名】
- 第4講 8月 4日 (木) 世々王有る「伊都国」 【参加者数：105名】
- 第5講 8月18日 (木) 二万余戸有る「奴国」 【参加者数：112名】
- 第6講 9月 1日 (木) 南して「投馬国」 【参加者数：107名】
- 第7講 9月15日 (木) 女王に属せず「狗奴国」 【参加者数：112名】
- 第8講 9月29日 (木) 「狗邪韓国」…「邪馬台国」そして、まとめ 【参加者数：115名】

【8回参加者数計：865名】

(3) 弥生時代講座

弥生時代の研究グループ「近畿弥生の会」と連携し、弥生時代講座「聞いてなっとく弥生の世界」を開講した。当館が臨時休館となった10月1日以降は、泉大津市立池上曾根弥生学習館で開催した。

- 8月 27日 (土) 「弥生土器の始まりを考える」 【参加者数：49名】
- 齋藤瑞穂 (神戸女子大学准教授)
- 10月 1日 (土) 「玉の流通にみる地域間関係」 【参加者数：56名】
- 谷澤亜里 (奈良文化財研究所都城発掘調査部研究員)
- 12月 3日 (土) 「銅鏡からみた近畿弥生社会」 【参加者数：53名】
- 南健太郎 (京都橘大学准教授)
- 2月 4日 (土) 「弥生・古墳時代の水銀朱使用と神仙思想」 【参加者数：78名】
- 石井智大 (三重県埋蔵文化財センター調査研究2課課長代理)

3. 学校教育との連携事業

(1) 校外学習受入れ・体験学習

各学校との連携により、ワークシートの利用を呼びかけ、要望に応じて当館の学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

- ・小学校/支援学校 【43校 43件 入館者数：2,844名】

（枚方市）東香里小学校・桜丘北小学校（大阪市）長橋小学校・南住吉小学校・千本小学校・清江小学校・義務教育学校生野未来学園・南田辺小学校・天王寺小学校・東小橋小学校・田島南小学校・喜連西小学校・北巽小学校（堺市）土師小学校・南八下小学校・金岡南小学校・若松台小学校（和泉市）伯太小学校・鶴山台南小学校・芦辺小学校・鶴山台北小学校（泉大津市）浜小学校・上條小学校・条東小学校・楠小学校・戎小学校・穴師小学校（高石市）高陽小学校・高石小学校・清高小学校・加茂小学校・取石小学校（忠岡町）忠岡小学校（岸和田市）浜小学校（河内長野市）天見小学校（松原市）天美南小学校（羽曳野市）白鳥小学校・西浦小学校（大阪狭山市）西小学校（泉佐野市）第三小学校（府立）堺聴覚支援学校（私立）京田辺シュタイナー学校・建国小学校

・ **高等学校** 【2校 入館者数：40名】

（府立）和泉支援学校（高等部）、だいせん聴覚高等支援学校

・ **その他団体** 【4団体 入館者数：73名】

放課後クラブオーパ宮川、放課後デイサービスウィズ・ニュー堺石津川、放課後等デイサービスあしあと、和泉市立国府第二保育園

①下見説明会

館内施設についての説明会を催し、また、館案内DVDの貸出を行うことで事前学習の一助とした。

・ 4月5日（火）13校 【参加者：34名】

・ 4月6日（水）6校 【参加者：11名】

②体験ゾーンの活用

弥生文化に親しみをもってもらうため、小中学生をはじめとした団体利用者に対し、屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【38団体 74件 利用者数：2,399名】

(2)「博物館 in school」事業 出前授業

幼稚園から高等学校にいたる学校等を対象に、弥生文化をはじめとした歴史や博物館に興味や親しみをもってもらうため、教育専門員・学芸員・学芸スタッフらが学校等に出かけ、体験学習等を行った。

【27校園 50回 1,378名】

・ **小学校** （枚方市）枚方第二小学校（2回）（大阪市）今里小学校・遠里小野小学校・長吉出戸小学校（2回）・千本小学校（3回）・巽小学校（3回）（堺市）浜寺東小学校（3回）・家原小学校（2回）・槇塚台小学校（2回）・福泉中央小学校（2回）（泉大津市）旭小学校（3回）・条南小学校（3回）・楠小学校（3回）（岸和田市）大宮小学校（3回）・東葛城小学校・浜小学校（2回）（羽曳野市）はびきの埴生学園（2回）・羽曳が丘小学校（3回）（柏原市）堅上小学校

・ **保育園** （和泉市）くすのき保育園・鶴山台第一保育園・芦辺保育園

・ **その他** （熊取町）南学童保育所、西学童保育所（泉佐野市）セリオ学童保育北中、セリオ学童保育長坂（守口市）守口市教育委員会

(3) 博学連携事業

①博学連携セミナー

教員を対象に授業等の学習活動に活かせる内容の特別展解説、テーマ講演等を行った。

8月9日（火） 小中学校教員対象 【25名】

8月10日（水） 高等学校教員対象 【15名】

②教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館に誘致し、連携を深める試みを実施した。

和泉市養護教諭部会	【2回 計80名】
和泉市立池上小学校・和泉市立幸小学校・和泉市立富秋中学校教員研修	【49名】
堺市教職員組合	【15名】

③その他団体の受け入れ

和泉市観光ボランティアガイド、ボランティアグループ槻輪、いずみ識字学級、年輪大学、大阪府高齢者
大学校、社会福祉法人嘉舟会 【6団体 入館者数：89名】

④大学生博物館実習

近畿圏内をはじめとする各大学からの依頼を受けて博物館実習・研修等を行った。

6月 5日(日)	京都橘大学「博物館資料論」	【47名】
7月 3日(日)	関西大学「博物館実習」	【44名】
7月10日(日)	京都橘大学「博物館実習」	【36名】
7月16日(土)	桃山学院大学「学芸員課程博物館見学研修」	【9名】
7月17日(日)	桃山学院大学「文化財保存論見学研修」	【3名】
7月26日(火)～30日(土)	博物館実習	【22大学41名】

⑤高校生の講座等

高校生を対象に長期休暇期間中に歴史・文化等に親しみ、興味をもつ機会となる内容のセミナーを実施した。

7月26日(火)～8月31日(水)	大阪府立泉陽高等学校「夏休みの宿題 博物館見学」	【89名】
8月 2日(火)・19日(金)	大阪府立泉陽高等学校「バックヤードツアー」	【計26名】
8月 5日(金)	大阪府立今宮高等学校「夏期集中講座 考古学入門」	【12名】
8月10日(水)	高校生のための博物館ツアー	【4名】

⑥研究事業

- ・大学等の研究者と学術交流を行った。 【130名】
- ・大学、研究機関等と連携した研究活動を行った。
弘前大学人文社会学部北日本考古学研究センターとの共同研究「出土米の形態・DNA分析調査」
- ・『弥生文化博物館研究報告』第8集を刊行した(令和5年3月31日)。

4. 「でかける博物館」事業

(1) 出張展示

下半期の大規模改修工事に伴う臨時休館期間中、府有財産でもある館蔵品を有効に活用しかつ当館の存在を周知するため、府内の大型商業施設、博物館・資料館等に館蔵品を中心とした出張展示を行った。

①泉佐野市立歴史館いずみさの

ア. 冬季特別展「大阪の弥生文化—和泉と河内—」

イ. 開催期間：1月21日(土)～3月12日(日) 【入館者数：887名】

ウ. 開催趣旨：大阪南部の和泉、中部の河内を並列させた考古資料展として開催した。和泉を代表する池

上曽根遺跡を中心に、堺市の下田遺跡、四ツ池遺跡など主要遺跡の出土遺物や、泉南では泉佐野市の湊遺跡、泉南市の男里遺跡等から出土した漁労や製塩関係の土器等を展示した。また河内では船橋遺跡、瓜生堂遺跡、亀井遺跡等の出土遺物を展示し、大阪府内における各地の拠点集落や地域性、交流について検討した。

②大阪府立中央図書館 『卑弥呼の時代を描こう』優秀作品展』

開催期間 8月16日(火)～9月11日(日) 【入館者数：29,797名】

③藤井寺市教育委員会 「船橋遺跡里帰り展」

開催期間 10月17日(月)～28日(金) 【入館者数：346名】

④日本民家集落博物館

大阪府立弥生文化博物館出張展示「はるか昔がちょっと昔にやってきましたー弥生時代の道具ー」

開催期間 11月2日(水)～23日(水・祝) 【入館者数：2,792名】

⑤堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら) 「河内の弥生土器ー船橋遺跡出土品にみる造形ー」

開催期間 11月29日(火)～12月25日(日) 【入館者数：3,967名】

⑥八尾市立歴史民俗資料館 大阪府立弥生文化博物館コラボ展示「やおにおかえり」

開催期間 12月3日(土)～1月16日(月) 【入館者数：404名】

⑦柏原市立歴史資料館 特集展示「大阪府立弥生文化博物館出張展示 弥生時代の柏原もスゴイ！」

開催期間 1月24日(火)～3月19日(日) 【入館者数：1,697名】

⑧大阪府立狭山池博物館

令和3年度でかける博物館出前展示「船橋遺跡をさぐるー古代河内の中心と役人たちー」

開催期間 2月22日(火)～5月8日(日) 【今年度入館者数：17,465名】

ミニ展示「家」での暮らし」

開催期間 2月1日(水)～3月21日(火・祝) 【入館者数：11,066名】

⑨サテライトミュージアム

和泉市立池上曽根弥生情報館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：61,565名】

開催期間 4月1日(金)～3月31日(金)

泉大津市立池上曽根弥生学習館 当館所蔵資料の展示 【入館者数：5,942名】

開催期間 4月1日(金)～3月31日(金)

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。下半期の大規模改修工事に伴う臨時休館期間には商業施設での出展を行った。

①大型商業施設(イオンリテール株式会社)

館周辺を中心としたイオンモール等において、「学ぶ・まなぶ」「触れる・ふれる」「遊ぶ・あそぶ」「作る・つくる」のコーナーを設け、弥生土器等の実物資料の展示、貫頭衣体験、銅鐸せつけんづくり、金印ペンダントづくり、消しゴム勾玉づくり等のワークショップ、館キャラ着ぐるみアトラクションによる広報活動等を実施した。

ア. イオンモール堺北花田

開催期間：10月12日(水)～16日(日) 【参加者数：2,687名】

- イ. イオンモール堺鉄砲町
開催期間：1月17日(火)～29日(日) 【参加者数：2,478名】
- ウ. イオンモール日根野
開催期間：2月2日(木)～7日(火) 【参加者数：1,467名】
- エ. イオン藤井寺ショッピングセンター
開催期間：2月14日(火)～26日(日) 【参加者数：3,079名】
- ②ふれあいまつり2022 5月5日(木・祝) 【参加者数：52名】
内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根弥生学習館
- ③第3回池上プレイステージフェスタ 5月5日(木・祝) 【参加者数：28名】
内容・連携先 「木庖丁をつくろう！」 和泉市教育委員会
- ④近鉄まなぼスタジオ 8月7日(日) 【参加者数：3名】
内容・連携先 「銅鐸石けんをつくろう！」 あべのハルカス近鉄百貨店
- ⑤コトコトステージ 8月11日(木・祝) 【参加者数：10名】
内容・連携先 「「卑弥呼の時代」の鏡をつくろう！」 西宮阪急
- ⑥あべの天王寺・サマーキャンパス2022 8月21日(日) 【参加者数：1名】
内容・連携先 「銅鐸せっけんをつくろう！」 近鉄文化サロン阿倍野
- ⑦むきばんだフェスタ 10月16日(日) 【参加者数：45名】
内容・連携先 「銅鐸せっけんをつくろう！」 鳥取県立むきばんだ史跡公園
- ⑧はるか昔がちょっと昔にやってきましたー弥生時代の道具ー 【参加者数：558名】
11月2日(水)～23日(水・祝)
内容・連携先 「もみすり体験、泥面子づくり・あそび等」 日本民家集落博物館
- ⑨池上曾根弥生文化祭 in 池上曾根史跡公園 11月3日(木・祝) 【参加者数：112名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 和泉市
- ⑩大中遺跡まつり 11月5日(土) 【参加者数：150名】
内容・連携先 「木庖丁をつくろう！」 兵庫県立考古博物館
- ⑪泉大津さんままつり 11月6日(日) 【参加者数：120名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 復幸の架け橋実行委員会
- ⑫M・Cみはら秋の大感謝祭 11月19日(土)～20日(日) 【参加者数：149名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 堺市立みはら歴史博物館
- ⑬古墳フェスにはにコット vol.11 11月27日(日) 【参加者数：145名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 高槻市今城塚古墳公園
- ⑭出張展示ワークショップ 12月3日(土)～25日(日) 【参加者数：35名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 堺市立みはら歴史博物館
- ⑮コラボ展示ワークショップ 12月3日(土)～1月15日(日) 【参加者数：75名】
内容・連携先 「土器銅鐸パズル」 八尾市立歴史民俗資料館
- ⑯コラボ展示ファミリー体験講座 12月4日(日) 【参加者数：8名】
内容・連携先 「铸造体験ー銅鏡をつくろうー」 八尾市立歴史民俗資料館

⑰コロポ展示ファミリー体験講座 1月8日(日) 【参加者数：12名】
内容・連携先 「鳥形”紙”ひこうきをつくろう」 八尾市立歴史民俗資料館

⑱泉佐野市立歴史館いずみさの冬季特別展関連ワークショップ 【参加者数：70名】
2月11日(土・祝)～12日(日)
内容・連携先 「木庖丁をつくろう」等 泉佐野市立歴史館いずみさの

(3) 学芸員の出張講演・講座

当館学芸員が出向き、講演や体験学習を実施した。成人の生涯学習を支援した。

①近鉄文化サロン阿倍野 でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活9

- 5月19日(木) 「みちのく弥生文化ー東北北部に弥生文化は波及しなかったのか?ー」
禰亘田佳男(当館館長) 【参加者数:44名】
- 7月21日(木) 「海とともに生きた三浦半島の弥生人」
塚本浩司(当館学芸課長) 【参加者数：44名】
- 8月18日(木) 「世界遺産 ヨーロッパの巨石モニュメントー立石構築物とセトルメントー」
秋山浩三(当館副館長) 【参加者数：33名】
- 12月15日(木) 「河内湖周辺に定着した渡来人の生活」
鹿野 壘(当館総括学芸員) 【参加者数：56名】

②四天王寺大学 日本学特殊講義「考古学」

10月18日(火)、25日(火)、12月6日(火) 塚本浩司(当館学芸課長) 【参加者数：各21名】

③堺自由の泉大学

9月15日(木) 「女王卑弥呼と堺(大阪)」鹿野 壘(当館総括学芸員) 【参加者数：21名】

④藤井寺市役所 船橋遺跡里帰り展講演会

10月22日(土) 「近畿における弥生時代の始まりー船橋遺跡の縄文晩期・弥生前期の土器の関係をめぐってー」 【参加者数：32名】
秋山浩三(当館副館長)
「華麗なる船橋遺跡の土器」
三好孝一(公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所調査研究技師・前当館学芸課長)

⑤公益財団法人大阪府文化財センター設立50周年記念・博物館事業20周年記念講演会

「歴史発掘おおさか半世紀」

12月3日(土) 「いやあ、考古学って本当にいいもんですねー発掘された日本列島ー」
禰亘田佳男(当館館長)

於 大阪科学技術館大ホール 【参加者数：83名】

⑥八尾市立歴史民俗資料館 大阪府立弥生文化博物館コラボ展示「やおにおかえり」ミュージアムトーク

12月4日(日) 「亀井遺跡の弥生犬ー八尾出身の弥生博キャラ紹介とともにー」
高瀬裕太(当館学芸員) 【参加者数：8名】

1月8日(日) 「弥生絵画ー八尾の弥生人が見た龍ー」
鹿野 壘(当館総括学芸員) 【参加者数：15名】

⑦令和4年度M・Cみはらシリーズ講座みはら学びのすすめⅡ

12月9日(金) 「みはらの歴史と河内鑄物師」
鹿野 壘 (当館総括学芸員) 【参加者数：42名】

⑧泉南市埋蔵文化財センター せんなんの歴史と文化の講座

12月24日(土) 「泉南市の魅力ー博物館学芸員の視点からー」
高瀬裕太 (当館学芸員) 【参加者数：34名】

⑨安満遺跡公園 第2回あま歴史講演会「弥生島作農耕」

2月5日(日) 「弥生時代の島作農耕について」
塚本浩司 (当館学芸課長) 【参加者数：74名】

⑩令和4年度泉佐野市立歴史館いずみさの冬季特別展「大阪の弥生文化-和泉と河内-」講演会

2月12日(日) 「ここまでわかった！河内の弥生」
禰亘田佳男 (当館館長) 【参加者数：41名】

2月18日(土) 「和泉・池上曾根遺跡の大形建物とその復原」
秋山浩三 (当館副館長) 【参加者数：29名】

⑪柏原市立歴史資料館特集展示「大阪府立弥生文化博物館出張展示 弥生時代の柏原もスゴイ！」

3月5日(日) 「弥生文化博物館所蔵資料と最近の調査結果からみた弥生時代の柏原」
鹿野 壘 (当館総括学芸員) 【参加者数：50名】

(4) 遺跡見学ツアー

歴史館いずみさのとの共催により冬季特別展歴史ウォークを開催し、当館の学芸員が解説を行った。

3月4日(土) 「弥生の拠点集落・高地性集落：池上曾根遺跡と観音寺山遺跡」
3月11日(土) 「大坂夏の陣・榎井合戦と古代海会寺」 【参加者数：10名、29名】

5. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

「音楽のきこえる博物館」のコンセプトのもとに、エントランスホールにおいて気軽に参加できるクラシック、ポピュラー等多彩なジャンルのコンサートを行った。コンサートは、コロナ禍のなか2年ぶりの開催となり、席数を減らし間隔を空ける、開場時間を遅らせる等の感染症対策を実施のうえ開催した。

5月4日(水・祝) フルート・クラリネット・ピアノによるトリオリサイタル 【参加者数：52名】
～アメリカ音楽よりガーシュウィンを中心に～

6月5日(日) 二胡&シンセサイザー 遥響-HARUKA- 「祈りの雫」 【中止】

6月19日(日) 時を駆ける・女性ピアノシンガーの変遷 【参加者数：110名】

7月17日(日) 大槻知世・陰山裕美子デュオコンサート 【参加者数：77名】
「心温まる名曲の数々を」

8月14日(日) 2人のピアニストが奏でる音楽玉手箱 【参加者数：67名】
～サン＝サーンス没後100周年を記念して～

8月21日(日) ピアノデュオコンサート 【参加者数：57名】
～夏の終わりにフランスと日本の風にのせて～

9月11日(日) Autumn is coming to 弥生 【参加者数:111名】

【6回参加者数計:474名】

(2) ミニギャラリー

府民の創作活動を発表する場として、エントランスホールを活用し、絵画、工芸品等の作品展を行った。

6月21日(火)～7月3日(日) 「青谷弥生人」 【入館者数:1,383名】

7月3日(日) 記念講演会「日本海を望む弥生の村と人々」
濱田竜彦氏(鳥取県地域づくり推進部文化財局)
【参加者数:54名】

8月23日(土)～9月4日(日) 「第2回kid's考古学新聞コンクール全国巡回展」
【入館者数:741名】

9月13日(火)～30日(金) 伝統工芸パネル展「伝統工芸のわざ『鑄金』」
【入館者数:908名】

9月23日(金・祝) 実演講演会
角谷征一氏(大阪府指定無形文化財「茶の湯窯」保持者)
【参加者数:64名】

(3) 子どもファーストデイ(みんないっしょに考古学)

大阪府の「こころの再生」施策の一環として、毎月第3土曜日に実施した。体験活動を通して、当館ならびに弥生文化を身近に感じてもらうため、弥生文化を中心とした、子どもから大人までを含めた一般向けの体験型の考古学講座を6回開催した。

4月16日(土) 「弥生の弓矢体験」「土器・銅鐸パズル」 【参加者数:合計131名】

5月21日(土) 「ストロートンボを作ろう」「土器・銅鐸パズル」

6月18日(土) 「弥生の火おこし体験」「土器・銅鐸パズル」

7月16日(土) 「銅鐸風鈴を作ろう」「土器・銅鐸パズル」

8月20日(土) 「弥生博の宝べやを探検しよう」「土器・銅鐸パズル」

9月17日(土) 「弥生の米つき体験」「土器・銅鐸パズル」

(4) 絵画コンテスト

当館を身近な存在として捉えてもらうため、弥生時代にちなんだテーマをもとに小・中学生を対象に作品を募集した。優秀作品を表彰し、館内と大阪府立中央図書館で展示した。

開催期間:7月30日(土)～8月13日(土) 【入館者数:1,420名】

審査員:小灘一紀(画家・日展理事)、石橋敏彦(元泉大津市立条南小学校校長)

応募締切:6月19日(日)

応募点数:288点

表彰式:7月30日(土)

金賞「弥生 PERIOD」別宮悠真(泉大津市立誠風中学校3年)

金賞「邪馬台国の女王」横川愛実(追手門学院大手前中学校2年)

銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入選60点

(5) ボランティア活動および研修

コロナ禍の状況に鑑みて自宅における翻訳支援活動を行った。

6. 広報普及事業

(1) 展覧会、イベント開催のポスター・チラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校や公民館をはじめ各機関に配布した。

(2) ミュージアムカレンダー

館行事を広く周知するため、行事予定をカレンダーにして作成、配布した。

(3) ホームページ、WEBによる情報発信

・当館ホームページおよびフェイスブック・インスタグラムを用いて、常設展・特別展・企画展・博物館催し物等に関する情報を発信した。 【投稿数：フェイスブック 158 回、インスタグラム 188 回】

・館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介した 4 コマ漫画や、常設展・特別展等の解説動画をホームページや YouTube に公開し、インターネット上で配信を行った。 【13 件】

夏季特別展「南関東の弥生文化ー東からの視点ー」 解説動画①②③④

常設展示解説動画「卑弥呼像について」「卑弥呼像の衣装」「卑弥呼と鏡」「卑弥呼ゆかりの品々」「弥生博の館キャラ～第一展示室～」「弥生博の館キャラ～第二展示室～」「卑弥呼関係ないけど、弥生時代の鏡についてすこ～しくわしくなれる動画」

泉佐野市立歴史館いずみさの冬季特別展「大阪の弥生文化ー和泉と河内ー」展示解説動画前編、後編

(4) 広報活動の活発な展開

・各種催しについて報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。

・和泉市・泉大津市の協力により、広報誌に当館の行事案内を掲載した。また、和泉市いずみの国観光おもてなし処（和泉府中・和泉中央駅近接地）において、各種のチラシを配架する等の広報活動を実施した。

・共同で指定管理を担う近鉄ファシリティーズ株式会社のグループ関連総合カルチャーセンター「近鉄文化サロン阿倍野」において「でかける博物館講座」を共催し、広報・企画部門において協力を得た。

・春季企画展の広報として、インスタグラムでターゲットを選定し、SNS 広告配信運用を実施した。アカウントの育成、集客・母集団形成により、当館の認知度の向上を図った。

・夏季特別展を新聞社の後援を得て開催し、当該新聞に広告を掲出し積極的な広報に努めた。

・校外学習や出前授業等の博物館利用について、学校への個別訪問等を通じて案内し利用を促進させた。

【112 件】

(5) 要覧作成

『令和 3 年度弥生文化博物館要覧』（令和 5 年 3 月 31 日発行）を作成した。

7. サービス向上事業

(1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

今後の事業展開の基礎とするため、特別展等においてアンケートを実施し、来館者の要望や展示内容への疑問等の把握に努めた。

【意見と対応】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として実施していたミュージアムショップの休止に関する改善、講演会等における机の使用要望、解説動画のさらなる充実等。

⇒受付ミュージアムショップにおいて、取扱商品の種類を減らす等の対策を実施したうえで図録等の頒布を4月から再開。講演会用として机付き椅子を新規導入。メモを取り易くして、参加者の利便性を向上させた。常設展・特別展の展示解説動画を回数・内容ともに充実させ、フェイスブック等においても詳しい告知を心掛けた。

(2) 弥生文化サロンの開設

入館者と館長が自由に語る場を創設し、新たな府民サービスを提供した。

「弥生でフリートーク with 館長ー弥生文化サロンー」 禰亙田佳男(当館館長)、高瀬裕太(当館学芸員)

第1回 4月28日(木) 【参加者数:1名】

第2回 5月5日(木・祝) 【参加者数:7名】

(3) 学芸員による展示解説

展示室において学芸員が展示解説を行った。

泉佐野市立歴史館いずみさの、八尾市立歴史民俗資料館、日本民家集落博物館等の出張展示においても随時解説を行った。

夏季特別展 【4回】

(4) 子どもにもわかりやすい解説

館のマスコットキャラクター「カイト」と「リュウさん」による弥生時代を解説する「連載マンガ」と「弥生博アニメ」をホームページに掲載した。加えて、「弥生クイズー卑弥呼からの依頼」により、コロナ禍におけるオンラインでの利用促進を図った。新たな取り組みとして、小学校を対象に、Teamsによるタブレット端末を活用した学芸員によるオンライン授業を実施し、好評を得た。館内のデジタルサイネージの利用を再開した。

(5) 音声ガイドの無料貸出

音声ガイド(日本語・中国語)および館キャラクター「カイト」と「リュウさん」による音声ガイド(日本語・英語・韓国語・中国語)を用意し、貸し出した。

(6) 解説シートの配布、図録等の出版

展示観覧の補助となる解説シートを作成配布した。展覧会の理解を深めるため、展覧会図録等を発行し、関係機関に配付した。

夏季特別展図録『南関東の弥生文化』令和4年7月刊行

8. 府施策協力事業

(1) 池上曾根遺跡史跡公園の活用

博物館実習のプログラムに取り入れる等して、学芸員の解説による史跡公園の見学を行った。史跡公園・情報館や学習館で開催される行事に協力し、体験学習等を実施した。

(2) 他館との連携

泉州・紀北ミュージアムネット加盟館等と連携して多様なワークショップ等を行った。

※でかける博物館事業に記載

(3) 障がい者等への利用援助

支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験メニューを実施し、障がい者の健康面に配慮し、休憩室を必要に応じて確保した。

9. 管理事業

(1) 日常的管理・修繕

指定管理共同企業体の近鉄ファシリティーズ株式会社と共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等の施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案した。急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、適宜修理等を提案し、実施した。

- ・ロビー電動ブラインド修理（ロビー中央）
- ・スライド式ホワイトボード修理（ホール内）
- ・浴室用給湯器配管補修（警備員室附属）
- ・アクリル袖壁の落書き除去
- ・低木剪定および除草

(2) 下半期の設備改修工事後にむけての点検・整備

大規模改修工事終了後、再開館に向けて、常設展示室および第2展示室の展示品ならびに機材の清掃・点検・整備を実施した。

(3) 館蔵資料の管理、保管

所蔵資料の適切な管理を実施した。展示室、特別収蔵庫において、温湿度データを集積した。

(4) 館蔵資料の貸出し

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像ほか）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。 【実物資料3件 73点／写真資料41件 121点】

(5) 図書資料管理・収集

学術図書の計画的購入等、資料収集に努めた。また、「国際ソロプチミスト大阪ーいずみ」からの寄附を受けて専門図書を購入し、開架図書の充実を図った。

(6) 学芸研修

職員の研修や博物館管理・運営の参考のため、文化庁主催の公開承認施設連絡会議等のオンライン会議を視聴した。

6月15日（水）公開承認施設連絡会議

6月16日（木）防災防犯対策研修会議

(7) ミュージアムスタッフの人材育成

人と人とのふれあいを大切にし、心地よい博物館を目指して、来館者への対応を朝礼等で共有した。展覧会開催にあわせてスタッフへの展示解説を実施し、来館者の質問に積極的に対応できるような取り組みを行った。

(8) 人権研修・消防訓練

人権啓発用ソフト（教材）の視聴によって、職員の人権研修を実施した。

3月14日(火)、15日(水)、16日(木)

消防計画に基づいて、和泉市消防署の指導による自衛消防訓練研修を実施した。 3月22日(水)

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催した。
また、館内消毒を心がけるとともに、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

10. 管理運営体制

(令和4年度)

区 分	入館者数 (名)			入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,156	2,155	3,311	269,730	44
割合 (%)	22.0	21.6	21.7		
春季企画展	1,819	4,286	6,105	642,640	56
割合 (%)	34.5	42.9	40.0		
夏季特別展	2,292	3,541	5,833	900,950	57
割合 (%)	43.5	35.5	38.3		
合 計	5,267	9,982	15,249	1,813,320	157
割合 (%)	100.0	100.0	100.0		

<年度比較>

令和3年度実績	14,794	1,666,200	254
令和2年度実績	14,880	2,159,930	225
令和元年度実績	38,310	3,223,140	277

※臨時休館

9月19日(月・祝)午後 暴風警報発令のため

10月1日(土)～3月31日(金)の149日間 施設改修工事のため

V. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 展示公開事業

(1) 常設展示

『近つ飛鳥と国際交流』『古代国家の源流』『現代科学と文化遺産』をテーマに展示公開を行った。

(2) 特別展・企画展

①夏季特別展「献ずる器—横穴式石室を彩るものたち—」

【総入館者数 9,405 名・展示室入館者数 3,793 名・展示室 75 名/日】

ア. 開催趣旨

古墳時代中期、大陸文化の影響を受けて作られるようになった須恵器には、集落ではほとんどみかけない古墳専用の独特な形をした器がある。一須賀古墳群に数多く見られる坏をたくさん貼り付けた子持器台もその一つである。この特別展では、横穴式石室の導入とともにみられる須恵器の多量副葬や子持器台などの特殊な須恵器を中心に古墳に副葬された土器について考える展示を行った。

イ. 開催期間 7月30日(土)～9月25日(日)

【会期：50日間】

②秋季企画展・公益財団法人大阪府文化財センター設立 50 周年記念

「川と道の織りなす河内の交通—大和川と船橋・国府遺跡—」

【総入館者数 12,015 名・展示室入館者数 4,460 名・展示室 89 名/日】

ア. 開催概要

船橋遺跡は大和川と石川の合流点、古代の河内国府とも推定される国府遺跡も近い大和への主要交通路の通る重要な遺跡である。この展示では、古墳時代から古代にかけての、水上交通と陸上交通の結節点について考えた。展示では弥生文化博物館の松岡コレクションの収集品、大阪府教育委員会、藤井寺市教育委員会、公益財団法人大阪府文化財センター等の所蔵・保管する資料を中心に展示を行った。また、水上交通と陸上交通の結節点という観点から、淀川をテーマとして同時期に企画展を開催する高槻市立今城塚古代歴史館と連携し、関連行事等を実施した。

イ. 開催期間 10月22日(土)～12月18日(日)

【会期：50日間】

(3) 特別陳列・連携展示

①春季特別陳列「茅渟縣陶邑と須恵器生産のはじまり—大庭寺遺跡出土品指定記念—」

【総入館者数 15,496 名・展示室入館者数 4,623 名・展示室 74 名/日】

ア. 開催概要

堺市大庭寺遺跡の出土品が大阪府指定文化財に指定されることを記念して紹介する展示を行った。同遺跡では、須恵器の大規模生産遺跡「陶邑窯跡群」最古の生産関連遺跡で、同時代に朝鮮半島で作られていたものと同じ多孔式高杯などのさまざまな須恵器が出土している。古墳時代中期に始まる窯業生産の大変革の先駆けとなった資料を紹介した。

イ. 開催期間 4月23日(土)～7月3日(日)

【会期：62日間】

(4) スポット展示

周辺自治体の調査成果や館収蔵資料のうち未公開資料等最新情報をスポット展示で発信した。

①滋賀県立安土城考古博物館との連携展示「でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館」

8月19日(金)～10月28日(金) 【会期：61日間 展示室入館者数3,881名】

②枚方市文化財課との連携展示「北河内初の横穴墓発見－アゼクラ遺跡－」

1月14日(土)～2月5日(日) 【会期：20日間 展示室入館者数833名】

③八尾市観光・文化財課との連携展示「史跡由義寺跡発掘調査速報展」

2月11日(土・祝)～3月19日(日) 【会期：32日間 展示室入館者数3,022名】

2. 講演会事業

(1) 特別展・企画展等関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。

- | | | |
|-----------|---|-------------|
| 5月15日(日) | 「初期須恵器の生産と韓半島から渡来した陶工たち」
中久保辰夫(京都橘大学) | 【参加者数：89名】 |
| 6月5日(日) | 「大阪の初期須恵器窯－TG231・232号窯跡と上町谷窯－」
市川創(大阪府教育庁) | 【参加者数：61名】 |
| 6月26日(日) | 「須恵器生産のはじまりと陶邑・大庭寺遺跡」
岡戸哲紀(公益財団法人大阪府文化財センター) | 【参加者数：84名】 |
| 9月4日(日) | 「献ずる土器に込められた2つの祈り」
寺前直人(駒澤大学) | 【参加者数：74名】 |
| 9月18日(日) | 「装飾付須恵器にみる古墳のまつり」
山田邦和(同志社女子大学) | 【参加者数：56名】 |
| 11月20日(日) | 「淀川水系の交通と遺跡の動態」
内田真雄(高槻市立今城塚古代歴史館) | 【参加者数：58名】 |
| 11月27日(日) | 「川と道の織りなす河内の交通」
舘野和己(当館館長) | 【参加者数：100名】 |
| 12月4日(日) | 「国府遺跡の実像をさぐる－発掘調査の成果から－」
新開義夫(藤井寺市教育委員会) | 【参加者数：52名】 |

(2) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座

①入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

常設展示の内容に基づいた基礎的な講座として実施した。

- | | | | |
|-------|-------|--------------------------------------|------------|
| 第158回 | 4月9日 | 「古墳に納められた石棺を考える」
廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) | 【参加者数：32名】 |
| 第159回 | 5月14日 | 「金属の産地をさぐる」
東藤隆浩(当館学芸員) | 【参加者数：29名】 |
| 第160回 | 6月11日 | 「家形埴輪と蓋形埴輪」
市村慎太郎(当館総括学芸員) | 【参加者数：29名】 |
| 第161回 | 7月9日 | 「須恵器生産のはじまり」
島崎久恵(当館総括学芸員) | 【参加者数：20名】 |

第162回	9月10日	「骨から考えるくらし」 東藤隆浩（当館学芸員）	【参加者数：21名】
第163回	10月8日	「豪族の住まいと民のムラ」 島崎久恵（当館総括学芸員）	【参加者数：15名】
第164回	11月12日	「近つ飛鳥への招待」 廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【参加者数：23名】
第165回	1月14日	「古墳の終わりと古墳時代の終わり」 市村慎太郎（当館総括学芸員）	【参加者数：31名】
第166回	2月11日	「古墳時代の鉄器生産」 島崎久恵（当館総括学芸員）	【参加者数：29名】
第167回	3月11日	「木製品の保存と修羅」 東藤隆浩（当館学芸員）	【参加者数：28名】

②土曜講座「オーサカ発 調査研究最前線」

学芸員による研究成果に加えて、大阪府教育庁をはじめ大阪府内市町村教育委員会等の協力を得て講師を招聘し、最新の研究成果を伝える場として開催した。

第148回	4月23日	「古市古墳群の築造に関わる集団」 市村慎太郎（当館総括学芸員）	【参加者数：45名】
第149回	5月28日	「天理市ハミ塚古墳の墳丘復元と横穴式石室について」 玉井 功（客員学芸員）	【参加者数：31名】
第150回	6月25日	「成合3・4号墳の発掘調査」 田中秀弥（公益財団法人大阪府文化財センター）	【参加者数：26名】
第151回	7月23日	「考古資料からみた古墳時代の造形意図と習俗」 廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【参加者数：31名】
第152回	9月24日	「一須賀古墳群と献ずる器」 島崎久恵（当館総括学芸員）	【参加者数：38名】
第153回	10月22日	「古墳と集落の滑石製品」 廣瀬時習（当館副館長兼学芸課長）	【参加者数：23名】
第154回	11月26日	「船橋遺跡における集落の変遷」 市村慎太郎（当館総括学芸員）	【参加者数：37名】
第155回	1月28日	「北河内初の横穴墓ーアゼクラ遺跡の調査成果ー」 井戸竜太（枚方市文化財課）	【参加者数：27名】
第156回	2月25日	「史跡由義寺遺跡の発掘調査について」 河村 卓（八尾市観光・文化財課）	【参加者数：63名】
第157回	3月25日	「古墳時代の集落のまつり」 島崎久恵（当館総括学芸員）	【参加者数：38名】

(3) 河南町教・育部共催「かなん文化財講座」

地元市町村と協力して文化財講座を当館で開催した。

- 第1回 10月26日(水) 「金山古墳と前方後円墳の終焉」
 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) 【参加者数:12名】
- 第2回 11月16日(水) 現地見学会「金山古墳とその周辺をあるく」
 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) 【参加者数:12名】
- 第3回 1月25日(水) 「南河内の古代寺院と瓦」
 島崎久恵(当館総括学芸員) 【参加者数:12名】
- 第4回 2月15日(水) 「南河内の中世山城」
 市村慎太郎(当館総括学芸員) 【参加者数:12名】

(4) ハルカムナカタ出前講座

福岡県人づくり・県民生活文化振興課、九州国立博物館世界遺産室世界遺産班と連携し、「沖ノ島」と「百舌鳥・古市古墳群」の両世界遺産をアピールする講座を開催した。

3月19日(日) ハルカムナカタ出前講座 in 大阪府立近つ飛鳥博物館

【参加者数:76名・同時オンライン視聴21名】

3. 学校教育との連携事業

(1) 校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れた。展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅(古墳時代の運搬具)の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘(一須賀古墳群)のウォークラリー等を実施した。

・小学校 【23校園 23件 2,120名】

(枚方市)藤阪東小学校・山田小学校・中宮小学校・山之上小学校・殿山第二小学校(堺市)登美ヶ丘西小学校(松原市)中央小学校(富田林市)彼方小学校(貝塚市)葛城小学校(千早赤坂村)小吹台小学校
 ・赤阪小学校(京都府京田辺市)松園小学校(奈良県香芝市)鎌田小学校(奈良県葛城市)新庄小学校(その他)帝塚山学院小学校・近畿大学付属小学校

・中学校

(太子町)太子中学校(その他)田園調布学園中等部・四天王寺中学校

・高等学校

大阪府立藤井寺工科高等学校・大阪府立八尾支援学校高等部

・その他

中村こども園・星の光幼稚園

(2) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を準備し、利用を促した。

(3) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場を利用して音楽会を開催し、親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場とした。地元高校生の軽音楽部の発表および他学校との交流の場として開催した。

4月29日(金・祝)

【雨天のため中止】

11月3日(木・祝)

大阪府立富田林高等学校・大阪暁光高等学校・大阪府立長野高等学校・

(4)「博物館 in school」事業

①出前授業

小学校、中学校、高等学校に教育専門員・学芸員が出向き、体験学習等を通じて古墳・飛鳥文化の理解につながるよう努めた。

【53校 91回 3,235名】

- ・小学校 〈箕面市〉北小学校(2回) 〈高槻市〉大冠小学校(2回) 〈吹田市〉岸部第二小学校(2回) 〈摂津市〉鳥飼北小学校(2回) 〈枚方市〉樟葉北小学校・明倫小学校 〈交野市〉藤ヶ丘小学校(2回) 〈大阪市〉長池小学校(2回) ・森之宮小学校・太子橋小学校・南住吉小学校・大領小学校(2回) ・西天満小学校(2回) ・豊新小学校(2回) ・南港光小学校・南百済小学校・巽南小学校(2回) ・南住吉小学校・焼野小学校・川辺小学校(2回) ・喜連小学校(2回) ・中津小学校(2回) ・堀川小学校(4回) ・豊仁小学校(2回) ・九条東小学校・大国小学校・茨田北小学校(3回) ・中央小学校(3回) ・柏里小学校・平野小学校(2回) 〈東大阪市〉高井田西小学校 〈八尾市〉高美南小学校・山本小学校(2回) 〈堺市〉茶山台小学校・浜寺石津小学校・安井小学校・さつき野小学校・竹城台小学校(3回) ・錦綾小学校・平岡小学校(2回) 〈岸和田市〉山直北小学(3回) 〈富田林市〉彼方小学校 〈羽曳野市〉古市小学校(2回) ・丹比小学校(2回) 〈河南町〉かなん桜小学校(3回) ・近つ飛鳥小学校 〈太子町〉山田小学校・磯長小学校(2回) 〈千早赤阪村〉赤阪小学校・千早小吹台小学校
- ・中学校 〈東大阪市〉孔舎衛中学校(4回) 〈大東市〉谷川中学校(3回)
- ・支援学校 大阪府立堺支援学校(堺市公園協会)

(5) 博学連携事業

①大学生博物館学実習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 8月3日(水)～7日(日) | 博物館実習 | 【9大学20名】 |
| 11月26日(土) | 四天王寺大学「博物館実習」 | 【10名】 |

②高校生の講座等

高校生を対象に歴史・文化等に親しみ、興味をもつ機会となる内容のセミナーを実施した。

- | | | |
|-----------|--------------------------|-------|
| 8月4日(木) | 大阪府立今宮高等学校「夏期集中講座 考古学入門」 | 【12名】 |
| 10月13日(木) | 私立和光高等学校「日本古代史研究旅行」 | 【27名】 |

③中学生の職場体験学習

博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考となる体験を支援した。

- | | | |
|------------------|-----------|------|
| 10月27日(木)・28日(金) | 太子町立太子中学校 | 【7名】 |
|------------------|-----------|------|

④地元大学との連携

大阪芸術大学に博学連携活動の場として提供した。

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|-------|
| 7月2日(土) | 「博物館見学」 | 【15名】 |
| 9月16日(金)・12月17日(土)・1月28日(土)～2月5日(日) | 芸術計画学科プロジェクト演習「光を呼ぶ鏡」 | |

⑤研究事業

ア. 他博物館等と連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換を行った。

イ. 国内・海外の研究者との学術交流

展示企画・研究活動、普及啓発事業を円滑にするため、国内外の研究者や博物館関係者との交流を活発に行なった。 【100件164名(うち海外研究者1名)】

4. 「でかける博物館」事業

(1) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。他地域の博物館との連携による展示を行い、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

①大阪府立狭山池博物館

令和3年度でかける博物館出前展示「船橋遺跡をさぐるー古代河内の中心と役人たちー」

2月22日(火)～5月8日(日) 【今年度入館者数：17,465名】

「ミニ展示「家」での暮らし」

2月1日(水)～3月21日(火・祝) 【入館者数：11,066名】

②滋賀県立安土城考古博物館

でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館「近つ飛鳥博物館の鏡」

8月19日(金)～10月28日(金) 【入館者数：4,714名】

(2) 出張講座・ワークショップ

公民館等へ出向いて講演や体験学習を実施することにより、古墳・飛鳥文化への理解につながるよう努めるとともに、地域における歴史遺産の普及活動や成人の生涯学習を支援した。

①近鉄文化サロン阿倍野 でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活9

6月16日(木) 「よそから来た土器はどう使われたのか」
市村慎太郎(当館総括学芸員) 【参加者数：45名】

9月15日(木) 「古墳時代のカマドと暮らし」
島崎久恵(当館総括学芸員) 【参加者数：36名】

2月16日(木) 「文字文化の伝来と木簡」
館野和己(当館館長) 【参加者数：65名】

3月16日(木) 「日本海沿岸地域と弥生・古墳時代の玉・玉生産」
廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長) 【参加者数：54名】

②四天王寺大学 日本学特殊講義「考古学」

9月20日(火)・11月22日(火)・1月10日(火) 廣瀬時習(当館副館長兼学芸課長)

11月1日(火)・12月13日(火)・1月17日(火) 市村慎太郎(当館総括学芸員)

【参加者数：各21名 計126名】

③平野区区画整理記念館歴史講座

8月14日(日)・21日(日)・28日(日)

【参加者数：計215名】

④出張ワークショップ

7月3日(日) まなぼスタジオ「はにわ貯金箱」 【参加者数：8名】

7月18日(月・祝) 堺市都市緑化センター「はにわづくり体験」 【参加者数：18名】

7月24日(日) まなリンク協議会「はにわづくり体験」 【参加者数：19名】

7月27日(水) 堺市立みはら歴史博物館「スリーステップで古墳を学ぼう！」
【参加者数：28名】

7月30日(土)・31日(日)

島本町人権文化センター「親子で勾玉づくり体験」 【参加者数：95名】

8月21日(日) 近鉄文化サロン阿倍野「あべのサマーキャンパス」 【参加者数：7名】

9月23日(金・祝) 旧河澄家「はにわづくり体験」 【参加者数：20名】

⑤ハルカムナカタ座談会

福岡県人づくり・県民生活文化振興課、九州国立博物館世界遺産室世界遺産班が実施したハルカムナカタ・キャンペーンに協力し、近つ飛鳥と国際交流をテーマに講演を行うとともに座談会に出席した。

2月24日(金) ハルカムナカタ座談会 in アクロス福岡

(3) れきしウォーク(現地見学会)

大阪の歴史を学び、来館の機会につなげるために、学芸員の案内により、各展覧会に関わる遺跡や大阪府内ならびに周辺各地の遺跡の見学会を実施した。

4月9日(土) 白鷹緑水苑ウォーク「歴史探訪」 【参加者数：15名】

4月16日(土) れきしウォーク「馬見丘陵の古墳をめぐる」 【参加者数：56名】

5月22日(日) 現地見学会「陶邑窯跡群をあるく」 【参加者数：41名】

10月16日(日) れきしウォーク「飛鳥千塚をあるく」 【参加者数：20名】

11月5日(土) 現地見学会「国府・船橋と周辺の遺跡をめぐる」 【参加者数：21名】

2月12日(日) れきしウォーク「姫路の古墳をあるく」 【参加者数：24名】

(4) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭等の催しに参加した。

11月5日(土)・6日(日) 河南町「第20回秋の文化祭典」

5. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、博学連携の成果等も含めて、絵画・写真等の展示を行った。

6月15日(水)～19日(日) 中島留彦「纏う(まとう)」 【入館者数：1,250名】

11月11日(金)～27日(日) 南河内東部小学校「児童はにわ展」 【入館者数：2,241名】

11月30日(水)～12月7日(水) 松井幸子「メモリー」 【入館者数：1,338名】

1月28日(土)～2月5日(日) 大阪芸術大学芸術計画学科 【入館者数：2,191名】

「光を呼ぶ鏡—天と感応するメディア—」

2月14日(火)～3月4日(土) このこのアート「このこのアート展」 【入館者数：6,361名】

3月7日(火)～3月29日(水) 加古川俊彦「ボタニカルアート展」 【入館者数：7,125名】

(2) 子どもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。展示品に関わるものの工作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を行った。

4月16日(土) 「けん玉」 【参加者数：40名】

5月21日(土) 「とことこあるく動物」 【参加者数：36名】

6月18日(土) 「走れ ラリーカー」 【参加者数：31名】

7月16日(土) 「糸巻き車」 【参加者数：46名】

9月17日(土) 「大きな独楽」 【参加者数：31名】

10月15日(土) 「ハロウィンかざり」 【参加者数：39名】

11月19日(土) 「メリーゴーランド」 【参加者数：54名】

12月17日(土) 「うさぎの額縁」 【参加者数：38名】

1月21日(土) 「ルーレット貯金箱」 【参加者数：62名】

2月18日(土) 「ぴよーんアニマル」 【参加者数：24名】

3月18日(土) 「紙コップとんぼ」 【参加者数：46名】

(3) 博物館バックヤード探検ツアー

親子、また一般を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫等博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。また、大阪府府民文化部の実施した大阪来てな！キャンペーン『ポップアップフェス in 大阪・梅田』に協力して、「サンクスガチャ」の当選者に特別バックヤードツアーを実施した。

5月4日(水・祝)・7月31日(日)・8月14日(日)・11月13日(日)・2月19日(日)

【合計5回 参加者数：計87名】

3月11日(土) サンクスガチャ当選「特別博物館バックヤードツアー」 【参加者数：5名】

(4) 夏休みこども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、リサイクル資材等を活用した工作室を開催した。

8月7日(日) 夏休みこども工作室 【参加者数：45名】

(5) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

8月13日(土)・20日(土) 【合計2回 参加者数：計58名】

(6) 古代衣裳着用体験

古墳時代・古代への関心を深めてもらうため、古墳時代・古代の復元衣裳を来館者が着用体験する機会を設けた。

5月3日(火・祝) 【参加者数：計80名】

(7) ボランティアの募集・活用、地域ボランティア、各種団体との協働

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習事業等、幅広い分野への支援活動を行った。また、南河内地域の観光ボランティアグループとの共同事業を推進した。

【活動 24 回 活動参加者合計 136 名】

6. 風土記の丘活用事業

(1) 古墳時代まつり「春の博物館であそぼう」

豊かな自然を持つ風土記の丘を活用し、ウォークラリー・勾玉づくり・森の工作室等を開催した。

5月3日(火・祝)	「修羅引き体験」	【参加者数：60名】
	「森の工作室」	【参加者数：200名】
	「古代衣装体験」	【参加者数：80名】
	「ウォークラリー」	【参加者数：100名】
	「指令書」	【参加者数：106名】
	「古墳探検ツアー」	【参加者数：45名】

(2) 風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

5月3日(火・祝)	【参加者数：45名】
11月6日(日)	【参加者数：5名】

(3) うめまつり

風土記の丘の梅開花にあわせて、講演会や体験、地元団体による物販販売等を実施した。

2月25日(土)・26日(日)	「南河内物産展」「古代の首飾りづくり」「土器パズル」	【参加者数：計90名 入館者数：1,680名】
2月25日(土)	うめまつり講演会「道鏡と孝謙(称徳)天皇」 館野和己(当館館長)	【参加者数：98名】

7. 広報普及事業

(1) 展覧会、イベント開催のポスター・チラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせてポスターやチラシを作成し、学校や公民館をはじめ各機関に配布した。

(2) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通して情報を提供した。 【計 134 回】

(3) ホームページの充実、WEBによる情報発信

・常設展・特別展・企画展の情報や博物館催し物案内を近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。また、従来から行ってきたフェイスブック・LINEに加えて、新たな顧客層獲得のために画像を中心としたインスタグラムの公式アカウントを開設し、館の魅力発信に努めた。

【更新・投稿回数：ホームページ75回・フェイスブック100回・LINE15回・インスタグラム26回】

・YouTube・フェイスブック等を利用して展覧会紹介等の動画を配信した。 【YouTube 動画配信 30 回】

(4) 機関紙「博物館だより」(アスカディア・古墳の森)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

『博物館だより』第57号 令和4年9月30日刊行 4,000部

『博物館だより』第58号 令和5年3月31日刊行 4,000部

(5) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館のテーマに沿った研究報告、博物館活動についての報告や年間事業記録等を掲載する館報を刊行した。

『館報』26号 令和5年3月31日刊行 800部

(6) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成し、配布した。

春季特別陳列・夏季特別展・秋季企画展・でかける博物館出前展示(狭山池博物館・滋賀県立安土城考古博物館)・スポット展・古墳時代まつり・南河内児童はにわ展・うめまつり(イベント・講演会)・ハルカムナカタ出前講座・月例講座(上半期・下半期)・ミュージアムカレンダー「4月～6月」「7月～9月」「10月～12月」「1月～3月」

(7) 校外学習・出前授業の案内活動

小中学校および高等学校の校外学習や出前授業等の利用を促すため、案内活動を行った。

【学校等への営業件数 97回】

(8) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。また、新聞等の有料広告を効果的に活用した。インターネットの博物館情報サイト等の活用や、共同運営を行う近鉄ファシリティーズ株式会社のグループ企業との連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載等、より効果的な広報活動を展開した。

【新聞等への掲載回数 11回・その他掲載回数 66回】

8. サービス向上事業

(1) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケートを通年で実施し、来館者の博物館に対するニーズの把握に努めた。また、昨年度の満足度調査の結果をホームページに掲載した。

【意見と対応】

展示品の撮影についての希望。

⇒展示にあたって所蔵者に協力を依頼した。秋季企画展では、全ての所蔵者から許可を得ることができた。

(2) 相談コーナーの設置

週末や特別展等の開催期間を中心に、実物資料に触れることができるコーナーを設置した。来館者からの文化財に対するさまざまな疑問については、受付等において対応し、必要に応じて学芸員等が対応した。

(3) 学芸員による展示解説

各展覧会の際、展示室において学芸員が展示解説を行った。

春季特別陳列 【5回】

夏季特別展 【4回】

秋季企画展 【4回】

10月1日より学芸員による常設展示室の解説動画を公開した。

【視聴回数 18,687回】

(4) 子どもにもわかりやすい解説

各展覧会で子ども向け解説パネル・リーフレット等を提供した。

各展覧会で「知リたイヌ」解説パネルを作成した。

【作成パネル数 15枚】

(5) 音声ガイドの無料貸出

常設展示においては、日本語（一般・児童）のほか英語・韓国語・中国語を用意し、外国人利用者へも配慮した。また、QRコードを設置し、入門コースおよび子供向け解説をスマートフォンやタブレット等で利用できるようにした。特別展・企画展においては別途、日本語解説を作成した。

(6) 解説シートの配布、図録等の出版

各展覧会で展示観覧の補助となる解説シートを作成、配布した。

展覧会への理解を深めるため、展覧会図録等を発行し、関係機関に配付した。

春季特別陳列リーフレット『茅渟縣陶邑と須恵器生産のはじまり』令和4年4月刊行

夏季特別展図録『献ずる器』令和4年7月刊行

秋季企画展図録『川と道の織りなす河内の交通』令和4年10月刊行

9. 府施策協力事業

(1) 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産に関する事業への協力

関連遺跡資料を展示した。

- ・春季特別陳列では、百舌鳥・古市古墳群の時代の渡来文化と窯業生産についての資料を紹介した。
- ・夏季特別展では、プロローグにおいて百舌鳥・古市古墳群終盤の墓制における渡来文化にかかわる資料を取り上げた。
- ・秋季企画展では、古市古墳群近接地域における出土品の調査研究成果を取り上げた。

【関連展示：春 128点・夏 10点・秋 60点 合計 198点（古墳時代中期関連資料）】

- ・世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会の事業に参画し「沖ノ島」と「百舌鳥・古市古墳群」の両世界遺産をアピールする講座を行った。

(2) 障がい者等への利用援助

支援学校の校外学習に際して柔軟な対応で解説や体験メニューを実施し、障がい者の健康面に配慮し、機器用電源や休憩室を必要に応じて確保した。

10. 管理事業

(1) 日常的管理・修繕

指定管理共同企業体の近鉄ファシリティーズ株式会社と共に、施設管理年間計画を策定し、定期点検等の施設管理を行った。また、経年劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善を提案した。急を要するものや、来館者の満足度向上に資すると思われるものについては、適宜修理等を提案し、実施した。

- ・風土記の丘管理棟横多目的トイレ系統排水管の通管作業
- ・風土記の丘来場者カウンター用ビームセンサーの取替
- ・博物館汚水処理施設換気扇用マグネットスイッチの交換
- ・博物館除湿器ベルトの交換
- ・博物館修羅室系統、ロビー系統空調機Vベルトの交換
- ・博物館常設展示室入口重量シャッターの点検、調整

(2) 館蔵資料の管理、保管

展示室、特別収蔵庫において、温湿度データを集積した。重要文化財「修羅」、紫金山古墳・南塚古墳出土品等については、所蔵者、研究機関を交えた定期的な点検を実施した。

2月16日(木) 国指定重要文化財「修羅」定期点検

3月13日(月) 京都大学考古学研究室「紫金山古墳・南塚古墳出土品」点検

(3) 館蔵資料の貸出し

保管する収蔵資料を幅広く活用するために、他の博物館等からの要請により貸出しを行った。

【館蔵資料・保管資料6件 29点／写真資料39点】

(4) 図書資料管理・収集

学術図書の計画的購入等、資料を管理し収集に務めた。各博物館・都道府県・市町村から寄贈された図書を登録し、書庫へ配架した。また来館者に文化財に関する研究・探究心を深めてもらえるよう、普及啓発用図書や学術図書を計画的に購入し書籍閲覧コーナーの充実をはかった。 【登録冊数 1,758冊】

(5) 学芸研修

職員を会議や研修に参加させ、博物館管理・運営の参考とした。

6月15日(水) 公開承認施設担当者会議(オンライン)

7月6日(水) 全国博物館館長会議(オンライン)

(6) 客員学芸員制度

展示企画・研究活動について実務面での人的な協力体制を作りより充実したものとするため、客員学芸員1名を委嘱し、展覧会図録、館報等の執筆や、土曜講座での出講、講演会の補助等普及事業、研究において協力を仰いだ。

(7) ミュージアムスタッフの人材育成

人と人とのふれあいを大切に、心地よい博物館を目指して、毎朝の朝礼やアンケートの内容等を確認し、来館者に対する対応を共有した。展覧会開催にあわせてスタッフへの展示解説を実施し、来館者の質問に積極的に対応できるような取り組みを行った。

(8) 人権研修・消防訓練

職員の人権研修ならびに消防計画に基づいた自衛消防訓練を実施した。

3月30日(木) 人権研修・自衛消防訓練

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討しながら実施した。講演会や講座等への往復はがきによる事前申し込み等については、年度後半から講演会を除き廃止した。

(10) 近つ飛鳥風土記の丘管理

①日常的管理

園路およびみどりの広場の草刈り・清掃、園内施設の清掃等を実施した。害虫による被害、損壊、損傷等の行為に係る点検を行い対処した。また、劣化等により修繕が必要な箇所を抽出し、所管課に改善の提案を行った。

②全国風土記の丘協議会への参加

各地の風土記の丘の活用について情報を収集した。

11. 管理運営体制

(令和4年度)

区 分	入館者数 (名)					入館料 (円・税込)	開館 日数 (日)	風土記の丘 利用者数 (名)	
	展示室			普及 ゾーン	総数				
	有料	無料	計						
常 設 展	4,585	3,125	7,710	28,037	35,747	1,215,240	141	/	
割合 (%)	40.8	33.4	37.4	53.8	49.2				
春季特別陳列	2,985	1,638	4,623	10,873	15,496	795,200	62		
割合 (%)	26.6	17.5	22.5	20.9	21.3				
夏季特別展	1,947	1,846	3,793	5,612	9,405	997,510	50		
割合 (%)	17.3	19.8	18.4	10.8	13.0				
秋季企画展	1,722	2,738	4,460	7,555	12,015	578,400	50		
割合 (%)	15.3	29.3	21.7	14.5	16.5				
合計	11,239	9,347	20,586	52,077	72,663	3,586,350	303		135,499
割合 (%)	100	100	100	100	100				

<年度比較>

令和3年度 実績	9,792	8,888	18,680	42,205	60,885	4,036,410	252	99,202
令和2年度 実績	9,101	6,034	15,135	40,808	55,943	2,725,980	257	114,508
令和元年度 実績	14,661	12,380	27,041	52,224	79,265	5,176,720	258	97,302

※臨時休館

- 9月19日(月・祝)午後 暴風警報発令のため
- 12月27日(火) 各種点検等のため
- 3月30日(木)・31日(金) 指定管理者の変更に伴う引継ぎ作業のため

VI. 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

1. 展示公開事業

(1) 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマに展示をした。その時代の人びとのくらしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介した。

(2) 特別展・企画展

新規の来館者の裾野を広げると共に、来館者の歴史文化に対する知的満足度をさらに高めるため、特別展・企画展を下記のとおり開催した。

① 春季企画展「耕す・育てる・収穫する」

【入館者数：1,614名 19名／日】

ア. 開催趣旨

豊かな土壌と穏やかな気候に恵まれた泉佐野では、さまざまな農作物の栽培が盛んに行われている。その歴史は古く、江戸時代には伝統的な稲作に加え、綿やサトウキビ、菜種等の商品作物がすでに広く栽培されていた。また、昭和前期には泉南地区のタマネギ生産高が全国一位になるなど、泉佐野は全国で最も農業の発展した地域の一つとして名を馳せた。その背景には、技術的制約を克服してきた泉佐野の人びとの努力と、生産高の向上を目指した農具改良の歴史が深く関係している。

本展覧会では、全て手作業で行われていた頃の農業から、機械化される直前までの農業において使用された民具を展示し、泉佐野における農業の様相とその発展を振り返った。

イ. 開催期間 5月21日（土）～8月28日（日）

【会期82日間】

② 秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」

【入館者数：1,893名 26名／日】

ア. 開催趣旨

近年では商品化された玩具たちにおされ、郷土玩具を目にする機会は著しく減少している。本展覧会では、本館所蔵品から全国各地の風土を色濃く反映した郷土玩具を通じて、地域性やこれらに込められた当時の人びとの願いに迫った。そして全国にわたって集められた郷土玩具を一堂に会することにより、地域色豊かな玩具が多く存在すること、またそれらを保存する必要があることを発信した。

イ. 開催期間 9月17日（土）～12月11日（日）

【会期71日間】

③ 冬季特別展「大阪の弥生文化—和泉と河内—」

【入館者数：887名 21名／日】

ア. 開催趣旨

大阪南部の和泉、中部の河内を並列させた考古資料展として開催した。和泉を代表する池上曾根遺跡を中心に、堺市の下田遺跡、四ツ池遺跡など主要遺跡の出土遺物や、泉南では泉佐野市の湊遺跡、泉南市の男里遺跡などから漁労や製塩関係の土器ほかを展示した。また河内では船橋遺跡、瓜生堂遺跡、亀井遺跡などの出土遺物を展示し、大阪府内における各地の拠点集落や地域性、交流について検討した。本展覧会は大阪府立弥生文化博物館との共催で開催した。

イ. 開催期間 1月21日（土）～3月12日（日）

【会期42日間】

(3) エントランスホール展示

① 日本遺産ガイドダンスセンター

日根荘の日本遺産認定に関連して、泉佐野を通る街道、二枚の絵図、中世日根荘など、泉佐野の歴史文化

を紹介した。

② 歴史館ギャラリー（市民連携活動）

市民の創作活動を発表とする場、他自治体と連携した展示を歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として随時実施した。

ギャラリー展示「泉佐野ゆかりの浮世絵展」

【入館者数：1,552名 31名／日】

ア．開催趣旨

泉佐野市観光ボランティア協会の平松忠紘氏による浮世絵展。自宅にあった喜多川歌麿の『びん鏡』の浮世絵コピーを木板に模写したことをきっかけに、泉佐野ゆかりの浮世絵が他にもあることを知って、それらを模写した。昔の佐野の名産を多くの人に知って欲しいという思いから今回の展示に至った。

イ．開催期間 7月30日（土）～9月25日（日）

【会期：49日間】

ギャラリー展示「奈加美神社奉納弁財船」

【入館者数：1,375名 15名／日】

ア．開催趣旨

令和2年6月、江戸時代の豪商食野・唐金家の本拠地で北前船の寄港地として栄えた佐野浦（佐野町場）が日本遺産「荒波を越えて男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に認定された。その日本遺産構成文化財の一つである、船主により奈加美神社に奉納された弁財船の模型を展示した。

イ．開催期間 12月7日（水）～令和5年3月29日（水）

【会期：90日間】

③ 博物館実習生ミニ展示

学芸員資格取得課程の博物館実習生が一連の展示作業の体験を通して開催した。

「不思議な海の道具たち」

【入館者数：1,179名 38名／日】

ア．開催趣旨

泉佐野の漁業に焦点を当て、漁で使用する道具などを展示した。

イ．開催期間 8月20日（土）～9月25日（日）

【会期：31日間】

④ 図書閲覧コーナー

郷土史の理解を深めるため、郷土の歴史文化を中心とした図書を自由に閲覧できるコーナーを設けた。

2. 講演会事業

（1）館長講演会

年に2回、坂井秀弥館長による講演会を行った。

8月6日（土） 「邪馬台国・ヤマト政権と纏向遺跡ー考古学の半世紀ー」

【参加者数：41名】

10月30日（日） 「古代の遷都ーヤマト政権から平安京までー」

【参加者数：24名】

（2）特別展・企画展関連の講演会

特別展・企画展のテーマに沿って、来館者の歴史文化に対する関心を高めるなど、生涯学習のきっかけづくりのために、講演会を開催した。

① 秋季企画展講演会

11月6日（日） 「郷土玩具と民俗」

西連寺 匠（帝塚山大学文学部日本文化学科）【参加者数：15名】

② 冬季特別展講演会

2月12日（日） 第1回「ここまでわかった！河内の弥生」

【参加者数：41名】

2月18日(土) 第2回「和泉・池上曾根遺跡の大形建物とその復原」 【参加者数：29名】

(3) 歴史学講座 歴史や民俗に関わる講座を実施した。

①歴史学講座 民俗編 橋本七海(当館学芸員)

8月14日(日) 第1回「動物の描かれ方から見る日本人の発想」 【参加者数：18名】

12月11日(日) 第2回「民俗学入門～民俗学ってどんな学問?～」 【参加者数：20名】

②歴史学講座 近代史編 松井 萌(当館学芸員)

11月3日(木) 第1回「大阪の自由民権運動－立憲政党の成立－」 【参加者数：20名】

1月29日(日) 第2回「大阪の自由民権運動－大阪の演説会－」 【参加者数：12名】

③副館長特別講座 西村 歩(当館副館長)

日本城郭の歴史的変遷や構造について、前年度からの連続講座を行った。

7月10日(日) 第6回「城郭観賞の基礎知識～天守～」 【参加者数：25名】

9月11日(日) 第7回「城郭観賞の基礎知識～天守と櫓～」 【参加者数：30名】

11月27日(日) 第8回「城郭観賞の基礎知識～櫓と諸施設～」 【参加者数：28名】

3月12日(日) 「泉佐野の中世城郭－佐野城、樫井城、土丸・雨山城を中心に－」 【参加者数：33名】

(4) 学芸員の出張講演・講座

歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進するため、他施設からの依頼に応じて出張講演等を実施した。

泉佐野観光ボランティア協会

6月2日(木) 「土丸・雨山城現地見学会」 【参加者数：19名】

1月7日(土)、3月25日(土) 「樫井合戦～泉州の大坂の陣～」西村 歩(当館副館長)

【参加者数：計38名】

(5) 学芸員による展示解説

講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、来館者からの要望に応じて随時展示解説を実施した。

①春季企画展「耕す・育てる・収穫する」

6月19日(日)、7月16日(土)、8月20日(土) 【参加者数：計10名】

② 秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」

9月24日(土)、10月29日(土)、12月3日(土) 【参加者数：計8名】

③ 冬季特別展「大阪の弥生文化－和泉と河内－」

1月21日(土)、1月28日(土)、2月11日(土)、2月25日(土) 【参加者数：計21名】

3. 体験学習事業

(1) 小中学校の団体見学受け入れ

各学校と連携し、学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

<泉佐野市>第一小学校、第二小学校、北中小学校、日新小学校、中央小学校 【5校5回：計417名】

(2) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に

出かけ、体験学習等を行った。

<泉佐野市>長南小学校、第二小学校、大木小学校、末広小学校、北中小学校、日新小学校、日根野小学校、長坂小学校、日根野中学校 【9校9回：計673名】

(3) 大学・高等学校、その他団体見学受け入れ

大学、高等学校、その他団体を受け入れ、学芸員が展示解説を行った。

<大学>和歌山大学 【1件：21名】

<他団体>貝塚いぶき作業所、放課後デイサービスラビット、放課後デイサービスぴんくイルカ（2回）、
歴学会 【5件：計57名】

(4) 子ども向け体験（れきし館ワークショップ）

毎月2回程度、体験学習事業を開催した。

4月3日（日）	「ぶんぶんゴマをつくって遊ぼう！」	【参加者数：10名】
4月9日（土）	「イースターエッグをつくろう！」	【参加者数：14名】
4月23日（土）	「フェルトでこいのぼりをつくろう！」	【参加者数：15名】
4月27日（水）	「ぶんぶんゴマをつくって遊ぼう！」	【参加者数：3名】
5月5日（木）	「くるくるレインボーをつくろう！」	【参加者数：9名】
5月21日（土）	「泥めんこをつくって遊ぼう！」	【参加者数：7名】
6月4日（土）	「ワラでミニほうきをつくろう！」	【参加者数：20名】
6月18日（土）	「七夕飾りをつくろう！」	【参加者数：11名】
7月2日（土）	「ペーパークイリングをしよう！」	【参加者数：16名】
7月16日（土）	「千代紙でミニ和傘をつくろう！」	【参加者数：18名】
7月30日（土）	「投扇興をつくって遊ぼう！①蝶と枕をつくろう」	【参加者数：11名】
8月7日（日）	「投扇興をつくって遊ぼう！②扇子に絵を描いて遊ぼう」	【参加者数：15名】
8月13日（土）	「螺鈿細工風ストラップをつくろう！」	【参加者数：15名】
8月20日（土）	「下敷きでオリジナルうちわをつくろう！」 博物館実習生とつくるわくわくワークショップ	【参加者数：11名】
8月27日（土）	「紙すき体験をしよう！」	【参加者数：22名】
9月3日（土）	「押絵ストラップをつくろう！」	【参加者数：16名】
9月17日（土）	「紋切り遊びをしよう！」	【参加者数：8名】
9月25日（日）	商工まつり「泥めんこをつくって遊ぼう！」	【参加者数：88名】
10月1日（土）	「画用紙でコマをつくろう！」	【参加者数：12名】
10月23日（日）	「ハロウィンガーランドをつくろう！」	【参加者数：19名】
11月5日（土）	「張り子でうさぎの置物をつくろう！」	【参加者数：15名】
11月12日（土）	「起き上がり小法師をつくろう！」	【参加者数：14名】
11月19日（土）	「絵付けしよう！」	【参加者数：17名】
12月3日（土）	「イタヤ馬をつくろう！」	【参加者数：7名】
12月10日（土）	「毛糸でサンタをつくろう！」	【参加者数：13名】
12月24日（土）	「ワラで祝亀をつくろう！」	【参加者数：17名】

1月7日(土)	「正月遊びをしよう！」	【参加者数：6名】
1月22日(日)	「くるみボタンをつくろう！」	【参加者数：8名】
2月19日(日)	「はまぐり雛をつくろう！」	【参加者数：14名】
3月5日(日)	「ミニ鼓をつくろう！」	【参加者数：13名】
3月25日(土)	「イースターバニーをつくろう！」	【参加者数：16名】

(5) 冬季特別展関連ワークショップ

「木庖丁をつくろう！」 「銅鐸風鈴をつくろう！」 「糺摺り体験をしてみよう！」

2月11日(土) 【参加者数：38名】、12日(日) 【参加者数：32名】

(6) いずみさの歴史ウォーク

冬季特別展関連行事

3月4日(土) 「弥生の拠点集落・高地性集落：池上曾根遺跡と観音寺山遺跡」 【参加者数：10名】

3月11日(土) 「大坂夏の陣・樫井合戦と古代海会寺」 【参加者数：29名】

(7) 市民・各団体連携（でかける歴史館）

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進した。

りんくうプレジャータウンシークル

8月11日(木) 「オリジナルぶんぶんゴマをつくろう！」 【参加者数：52名】

4. 資料収集・提供事業

(1) 寄贈等された図書の登録

各博物館・市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を台帳に登録し、書庫に開架した。

(2) 資料等の貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を依頼に応じて、全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用すると共に、各方面へ日根荘をはじめとする泉佐野市に関する情報を発信した。

【資料2件・22点／写真4件・38点】

(3) 展覧会、イベント開催のポスターチラシの配布

各展覧会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、学校、公民館をはじめ、各機関に配布し、周知を図った。

春季企画展、秋季企画展、冬季特別展

(4) 展覧会でのリーフレット・図録等の作成配布

各展覧会にあわせ、展示資料一覧等の閲覧ガイド・リーフレットを作成し、来館者に配布すると共に、図書館、各地博物館をはじめ、各機関に配布した。

リーフレットの作成 春季企画展、秋季企画展、冬季特別展

図録の作成 秋季企画展、冬季特別展

(5) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、年1回『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol.35 「令和5年度 夏季特別展」

(6) 歴史館紹介ちらしの配付

校外学習で来館した際に、生徒各々に展示会のちらしやリーフレットを配付し、家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

(7) 広報活動の活発な展開

館行事を広く周知するため、広報活動を充実した。

①フェイスブック等SNSにリアルタイムに行事の告知や実施報告記事を掲載した。

【フェイスブック投稿：65回】【ツイッター投稿：43回】

②泉佐野市広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載した。

- ・4月号 いずみさの昔と今 第316回「根来衆と日根荘の人々」
- ・5月号 いずみさの昔と今 第317回「中近世における長滝の信仰」
- ・6月号 いずみさの昔と今 第318回「耕す～農業と馬と牛～」
- ・7月号 いずみさの昔と今 第319回「育てる～虫送り～」
- ・8月号 いずみさの昔と今 第320回「収穫する～秋祭り～」
- ・9月号 いずみさの昔と今 第321回「郷土玩具と疫病除け」
- ・10月号 いずみさの昔と今 第322回「郷土玩具と遊び」
- ・11月号 いずみさの昔と今 第324回「郷土玩具と動物」
- ・12月号 いずみさの昔と今 第325回「弥生時代の塩づくり」
- ・1月号 いずみさの昔と今 第326回「弥生土器の美」
- ・2月号 いずみさの昔と今 第327回「弥生時代の石製分銅」
- ・3月号 いずみさの昔と今 第328回「泉佐野の近代化①」

③南海電鉄の情報誌『NATTS』に情報を提供した。

- ・南海NATTS 7・8月号 春季企画展「耕す・育てる・収穫する」
- ・南海NATTS 9・10月号 秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」
- ・南海NATTS 11・12月号 秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」

④泉佐野市政記者クラブ、新聞社、テレビ局、ミニコミ誌等に情報を提供した。

- ・J:comりんくう 6月1日(水) さのテレ！「春季企画展「耕す・育てる・収穫する」」取材
- ・J:comりんくう 6月4日(土) WEEKLYトピックス「春季企画展「耕す・育てる・収穫する」」・れきし館ワークショップ「ワラでミニほうきをつくろう！」取材
- ・J:comりんくう 9月22日(木) さのテレ！「秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」」取材
- ・J:comりんくう 9月25日(日) WEEKLYトピックス「商工まつり「泥めんこをつくって遊ぼう！」」取材
- ・J:comりんくう 10月5日(水) WEEKLYトピックス「秋季企画展「ぜんこく縦断！郷土玩具展」」取材
- ・J:comりんくう 2月3日(金) さのテレ！「冬季特別展「大阪の弥生文化 和泉と河内」」取材

(8) 満足度調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケートを設置し、また、講演会ではアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示・講演会への意見等の把握に務めた。

(9) 「れきし相談コーナー」の設置

市民からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

5. 人材育成事業

(1) 博学連携事業の推進

大学生の学芸員資格取得に伴う博物館実習等の要請を受け入れた。

8月16日（火）～20日（土） 近畿大学【2名】、追手門学院大学【1名】、和歌山大学【1名】

【計4名】

(2) ボランティア活動（市民が参加する歴史館）

広く市民ボランティアを募集し、市民と共に博物館事業を推進した。

ワークショップ補助、資料整理、展示整理補助

【延べ62回 116名】

6. 施設管理事業

(1) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫と特別収蔵庫においては燻蒸処理を年1回実施した。 【燻蒸処理実施 5月12日（木）】

(2) 施設（備品）の維持管理

館内施設（備品）を適切な状態に保つよう務めた。

(3) 施設の利用許可対応

4月6日（水） 泉佐野市教育委員会 「中学校教務担当者会」 【利用者数：6名】

5月7日（土） 泉佐野歴史と今を知る会 「明野飛行場調査報告」 【利用者数：4名】

6月14日（火） 泉佐野市教育委員会 「小中一貫教育担当者会」 【利用者数：20名】

6月24日（金） 泉佐野市教育委員会 「道徳教育推進教師連絡会」 【利用者数：20名】

10月19日（水） 泉佐野市教育委員会 「小中学校体育担当者会」 【利用者数：20名】

1月24日（火）、1月27日（金）、2月1日（水）

泉佐野市教育委員会 「泉佐野市小中学校介助員事業説明会」 【利用者数：計95名】

(4) 市との意見交換の実施

管理運営に関する協議や意見交換を定期的実施した。

(5) 館員の研修

人権研修を実施した。障がい者に配慮した対応の研修を実施した。

(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

館内消毒を心がけるとともに、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

7. 書籍の販売協力

泉佐野市刊行の常設展、特別展の図録等の書籍販売に協力した。

8. 利用者数一覧表

(令和4年度)

区 分	入館者数 (名)	館外自主事業 利用者 (名)	講師依頼による 利用者 (名)	合 計	備 考
常設展	1,153	304	0	1,457	102日間
割合(%)	21	39	0	35	
春季企画展	1,614	89	52	1,755	82日間
割合(%)	29	12	100	27	
秋季企画展	1,893	0	0	1,893	71日間
割合(%)	34	0	0	30	
冬季特別展	887	376	0	1,263	42日間
割合(%)	16	49	0	20	
合 計	5,547	769	52	6,368	297日間
割合(%)	100	100	100	100	

令和3年度実績	4,520	595	17	5,132	250日間
令和2年度実績	4,097	431	6	4,534	246日間
令和元年度実績	11,699	1,363	130	13,192	264日間

令和3年度より開館日の変更：祝日開館、毎月月末木曜日休館

令和3年度臨時休館 4月25日（日）～6月20日（日）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

令和2年度臨時休館 4月1日（水）～5月18日（月）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

1月13日（水）～1月22日（金）日本遺産ガイダンスセンター工事への対応のため

VI. 日本民家集落博物館事業

1. 展示公開事業

一般府民への普及啓発と博物館の研究成果を公開するため、特別展または企画展を開催した。また、展示民家を一般府民に開放し、市民展示を開催した。

(1) 常設展示

国指定重要文化財3件、国指定重要有形民俗文化財1件、国登録文化財3件、大阪府指定有形文化財4件、大阪府指定有形民俗文化財1件を展示公開した。また、昭和30年代の一部屋を再現した「むかしのくらし展示」において民具資料を公開した。石臼体験コーナーを併設した。

(2) 特別展

「信濃秋山の民家保存修理工事写真展」

ア. 内 容 令和2年から3年度にかけて行った信濃秋山の民家保存修理工事の工程写真を展示するとともに、民家の故郷、長野県栄村の風土と暮らしを紹介する動画の上映を行った。

イ. 開催期間 1月7日(土)～2月26日(日)

(3) 企画展

「みんなちゃんのかいこ日記」

ア. 内 容 飛騨白川の民家で昭和初期まで行われていた養蚕にちなみ、夏季に蚕を飼育した際の観察記録と繭から採取した絹糸や真綿等を紹介した。

イ. 開催期間 10月1日(土)～23日(日)

(4) 市民展示

地域の文化サークルや団体向けに日向椎葉の民家を開放し、ギャラリーとして活用した。

①写真展「日本の風景 九州編」

ア. 内 容 博物館スタッフによる写真展

イ. 開催期間 4月3日(日)～24日(日)

②西野誠一切り絵展「ネパールの思い出」

ア. 内 容 西野誠一氏による切り絵作品展

イ. 開催期間 4月29日(金・祝)～5月29日(日)

③竹田笙子写真展「民家うつろいの記録」

ア. 内 容 竹田笙子氏による写真展

イ. 開催期間 6月4日(土)～26日(日)

④竹細工展「民家集落の美しい竹林から」

ア. 内 容 ハンドメイドクラブによる作品展

イ. 開催期間 7月2日(土)～8月31日(水)

⑤能・狂言面展

ア. 内 容 遊創工房による作品展

イ. 開催期間 9月17日(土)～25日(日)

⑥游心会書道展

- ア. 内 容 豊中市に拠点を置く書道グループによる作品展
イ. 開催期間 10月25日(火)～30日(日)

⑦写真展「日本の風景 信越編」

- ア. 内 容 博物館スタッフによる写真展
イ. 開催期間 12月3日(土)～25日(日)

⑧ボランティア作品展

- ア. 内 容 博物館ボランティアによる絵画やちりめん細工小物等の作品展
イ. 開催期間 3月4日(土)～21日(火・祝)

2. 講演会解説事業

(1) 民家解説

展示民家について、ボランティアによる解説を行った。

(2) 「北河内の茶室公開と茶会」

- ア. 内 容 茶室内部を公開し、お茶会を行った。
イ. 開催日 4月、7月、9月～12月の第1・第3土曜日、
1月～3月の第3土曜日

【367名】

(3) 「白川の民家2階特別公開」

- ア. 内 容 白川の民家2階を公開した。
イ. 開催日 4月～6月、9月～11月、3月の第1・第3日曜日

【683名】

(4) 「家たび栄村オンラインツアー」

- ア. 内 容 信濃秋山の故郷、長野県栄村とオンラインで交流する催しを行った。
イ. 開催日 2月19日(日)

【10名】

3. 体験学習・学校教育連携事業

(1) GW親子企画「作って遊ぼう糸電話」

- ア. 内 容 糸電話を作って遊ぶ体験を行った。
イ. 開催日 5月5日(木・祝)

【25名】

(2) 夏休み親子企画「昔の暮らしについて学ぼう」

①白川郷の2階をのぞいてみよう

- ア. 内 容 白川の民家の屋根裏を公開し、解説を行った。
イ. 開催日 7月2日～8月28日の毎土・日曜日

【120名】

②なぞり書きと民家のぬり絵体験

- ア. 内 容 民家の縁側で「奥の細道」や童謡などのなぞり書きや、民家と昔の暮らしを描いたイラストのぬり絵体験を行った。

イ. 開催日 7月2日(土)～8月28日(日)

③竹細工づくり体験

ア. 内容 館内に自生する竹から竹細工を作る体験を行った。

イ. 開催日 7月24日(日)

【20名】

④まゆから真綿づくり体験

ア. 内容 博物館で飼育した蚕のまゆから真綿作り体験を行った。

イ. 開催日 8月20日(土)

【40名】

(3) 大阪府立弥生文化博物館冬季特別展関連ワークショップ

泥面子づくり・あそび、犬の人形づくり、もみすり体験、土器・銅鐸パズル・火起こし体験

ア. 内容 弥生文化博物館スタッフによる弥生時代の遊びや道具を使った体験を行った。

イ. 開催日 11月2日(水)～23日(水・祝)

【558名】

(4) 季節行事

日本の四季折々の歳時記にちなんだ催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
鯉のぼりと五月人形	4月23日(土)～ 5月12日(木)	日向椎葉の民家・ 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(日)～ 5日(木)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	7月1日(金)～ 7日(木)	大和十津川の民家	
お盆飾り	8月11日(木・祝)～ 14日(日)	信濃秋山の民家・ 日向椎葉の民家	
正月飾り	1月5日(木)～ 9日(月・祝)	館内各民家	
白川郷名物枳餅ぜんざいを食べよう	1月15日(日)	飛騨白川の民家	
餅つき	2月5日(日)	日向椎葉の民家	
桃の節句・雛飾り	2月11日(土・祝)～ 3月21日(火・祝)	越前敦賀の民家	

(5) 囲炉裏体験

展示民家において、ボランティアによる囲炉裏体験を行った。

(6) 参加体験型事業

入館者の参加・体験型の催しを行った。

体験教室名	開催期間	開催場所	対応者
はたおり体験	10月14日(金)～ 16日(日)	南部の曲家	SAORI 豊崎長屋

コマ遊び	4月～7月2日、 9月～12月3日、 2月18日～3月の 各土曜日 33 回実施	日向椎葉の民家前	ボランティア
紙芝居	4月～6月、 9月～11月、3月の 第2・第4土曜日 14 回 実施	日向椎葉の民家	博物館スタッフ
石臼体験	5月22日、6月12日、 9～11月、3月の第2・ 第4日曜日 10 回実施	石臼体験コーナー	博物館スタッフ
竹細工づくり体験	10月15日(土)	日向椎葉の民家前	ボランティア
博物館スタッフと巡る 写真映えスポット	12月11日(日)	館内	博物館スタッフ

(7) 校外学習の受け入れ・体験学習

学校団体を中心に、校外学習を積極的に受け入れ、体験学習も実施した。特に小学3・4年においては、小学3年生社会科「昔の暮らし」、4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具の見学を通して、昔の人々の暮らしぶりについて学習する機会を提供した。

小学校

〈大阪市〉豊里南、開平、巽東、天王寺、天下茶屋、宝栄、加賀屋東、長居、小林、帝塚山学院、〈摂津市〉味舌、〈豊中市〉東豊中、中豊島、西丘、野畑、上野、南丘、東丘、大池、南桜塚、桜塚、豊島北、新田(体験学習・2回)、北丘、千成、寺内、庄内西、北条(体験学習)、東泉丘、泉丘(体験学習)、小曾根(体験学習)、緑地、〈吹田市〉千里第三、豊津第一、江坂大池、〈茨木市〉彩都西、 【36校37件3,419名】

高等学校

〈岡山市〉岡山城東 【1校1件26名】

その他学校団体等

〈西宮市〉武庫川女子大学、〈豊中市〉中央工学校 OSAKA、大阪音楽大学附属幼稚園、〈東大阪市〉大阪工業大学、〈大阪市〉日本メディカル福祉専門学校、YMCA 学院、大阪成蹊大学、同心保育園、〈明石市〉明石工業高等専門学校、〈和泉市〉桃山学院大学、〈京都市〉京都府立大学、チュービンゲン大学同志社日本研究センター、〈吹田市〉大阪アニメーションカレッジ専門学校、大阪学院大学、〈茨木市〉東奈良敬愛保育園、中穂積敬愛保育園、白川敬愛保育園、郡山敬愛幼稚園、〈神戸市〉神戸女子大学

【19校19件798名】

4. 資料収集・提供事業

(1) 資料収集・研究

地域住民と連携し、広く情報を募りながら移築民家や収蔵民具に関する必要な資料の収集・研究を行った。

(2) 展示民家を提供・活用

「大和十津川の民家」「南部の曲家」「北河内の茶室」は貸部屋として提供し、民家により親しんでもらうための活用を図った。時代劇映画の映像撮影の舞台として映像作品の製作に協力した。

また、日向椎葉の民家を活用して、「信濃秋山の民家竣工記念金関環バイオリンコンサート」(4月2日)、「ウクレレコンサート」(4月3日)、「弦楽アンサンブルコンサート」(4月24日)、ケーナコンサート(9月25日)、「古民家で JAZZ LIVE」(10月16日)、「尺八・箏・三弦演奏会」(11月5日)を共催で開催した。 【貸部屋件数 58 件】

①映画「基盤斬り」ロケ

ア. 内 容 時代劇映画に登場する両替商の屋敷として日向椎葉の民家が撮影された。

イ. 実施日 3月27日(月)

②伝統文化体験教室

ア. 内 容 「民家こども囲碁クラブ」に会場を提供し、こどもたちが日本の伝統文化に慣れ親しむ場とした。

イ. 実施日 4月9日～3月25日 【計 36 回】

③「伝統芸能フェス」

ア. 内 容 大阪府教育庁文化財保護課の大阪府文化財保存活用プロジェクトに協力し、能や落語等伝統芸能の演者を招いて伝統芸能にまつわるトークや体験を行った。

イ. 開催日 3月19日(日)

(3) 関係書籍・博物館記念物品の頒布

展示資料の理解を深めるため、関係書籍等を頒布した。

5. 人材育成事業

(1) ボランティア活動の促進

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。「麦の脱穀体験」、「正月飾り作り体験」などの機会を設けてボランティアとのコミュニケーションを深め、活動の促進を図った。 【登録者 37 名】

(2) 大学博物館実習

大学の博物館実習生を受け入れ、学習の場を提供し、館の普及活動の一助とした。

追手門学院大学、大阪成蹊大学、同志社女子大学、関西学院大学 【計 6 名】

6. 文化財普及・広報事業

(1) 特別行事

①「みんなむかしのあそび体験」

ア. 内 容 服部緑地 10 月祭への協賛事業としてワークショップを実施した。併せてビーフカレーやロコモコ丼、プリン等のテイクアウト出店に協力した。

イ. 実施日 10月15日(土)

【367名】

②「秋の敬老フェア」

ア. 内容 敬老の日にあわせ、65歳以上の入館料を割引し、博物館の魅力発信に努めた。

イ. 実施日 9月17日(土)～19日(月・祝)

【7名】

(2) 広報リーフレットの作成

新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、臨機応変にイベント予定を調整するため、「催し案内」を2ヵ月毎の作成とし、北大阪急行電鉄の各駅、豊中市内の図書館・公民館・ホール、北摂の図書館・公民館等の施設にも配布を行った。併せて、3ヵ月毎の催し案内も配布を行った。

項目	発行月	部数
催し案内(2ヵ月毎)	4月、7月、9月、11月、1月、3月	計14,000部
催し案内(3ヵ月毎)	6月、9月、10月、12月	計4,800部

(3) インターネットによる広報

当館の概要や催し案内をホームページやFacebookで広報した。特に、Facebookについては毎日更新し、イベント、コスプレ来館者、民家クイズ、民家の紹介、季節の花々の画像等、多様なジャンルの画像を掲載し、PRの充実に努めた。

(4) 動画の配信

展示民家の特徴や価値を解説する動画を制作し、当館ホームページやYouTubeに公開配信し、当館の存在とその魅力を広く発信した。

「民家の案内 大和十津川の民家」解説動画

「民家の案内 南部の曲家」解説動画

「民家の案内 堂島の米蔵」解説動画

「民家の案内 堺の風車」解説動画

【4件】

(5) 小学校等への広報

小学校への個別訪問や先生への来館案内等を通じて、校外学習・体験学習等の案内をした。 【77件】

(6) 諸団体との連携

豊中市広報戦略課、地元ケーブルテレビ、FMラジオ、ミニコミ紙、阪急電鉄、北大阪急行電鉄、服部緑地公園管理事務所、都市緑化植物園、服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会等と連携し、効果的な広報に努めた。また、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報の協力を依頼した。NPO法人シニア自然大学校と連携し、ジュニア自然大学「服部緑地こどもゆめくらぶ」の活動に協力し、博物館の利用促進を図った。

(7) 資料の作成・頒布

「信濃秋山の民家(旧山田家住宅)保存修理工事(令和二・三年度)竣工記念写真集」を作成した。

「民家の案内」 「民俗」(上・下巻)を頒布した。

【民家の案内 186冊、民俗 8冊】

また、小中学生向け案内マップ及び英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、スペイン語、イタリア語による案内マップを配付した。

7. 保存修理・施設整備事業

(1) 保存修理

大阪府指定有形化財 旧丸田家住宅（大和十津川の民家）について、屋根の部分補修工事を実施した。

(2) 施設整備

展示民家の維持管理に悪影響を及ぼす樹木の伐採、見学者の安全に配慮した園路・階段などの整備を行った。（南部の曲家草棟上の楓の木の除去作業、セミナーハウス裏の枯れ松伐採作業等）

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて、各事業の内容・回数・実施方法を検討し、開催した。また、館内消毒を心がけるとともに、来館者に向けて手指消毒の呼びかけや検温等も継続して行った。

(4) 竹林キーパーの活動

ア. 内 容 館内の竹林の伐採、整備活動を専門に行うボランティアが活動を行った。

イ. 活 動 日 4月～3月の毎月第1・第3木曜（8月・令和5年1月は月1回） 【計22回】

8. 入館者数及び入館料収入一覧表

（令和4年度）

月	入館者数 (名)	入館料収入 (税込・円)	施設利用料収入 (税込・円)	開館日数 (日)
4月	3,031	1,129,400	121,000	26
5月	4,443	1,654,150	42,000	26
6月	1,493	512,900	23,000	26
7月	1,078	334,300	24,000	27
8月	678	189,350	5,000	26
9月	1,272	363,850	13,000	26
10月	2,942	781,050	18,000	26
11月	3,329	993,400	62,000	26
12月	1,377	401,350	28,000	22
1月	1,250	378,400	13,000	23
2月	2,227	597,050	8,000	24
3月	2,990	1,097,900	160,000	27
合 計	26,110	8,433,100	517,000	305

<年度比較>

	入館者数 (名)	入館料収入 (税込・円)	施設利用料収入 (税込・円)	開館日数 (日)
令和3年度	17,634	5,462,650	455,000	257
令和2年度	20,370	6,759,700	402,000	269
令和元年度	30,453	8,603,850	1,041,000	304

